

訪日外国人の消費動向

訪日外国人消費動向調査結果及び分析

2022年10-12月期 報告書

訪日外国人の消費動向

2022年10-12月期 報告書

目次

I 訪日外国人の消費動向の分析結果

1. 訪日外国人の属性と旅行内容

- (1) 全目的 …………… 3
 (2) 観光・レジャー目的 …………… 9

2. 訪日外国人の旅行支出

- (1) 旅行支出の構造 …………… 13
 (2) 旅行前支出 …………… 14
 (3) 旅行中支出 …………… 14
 (4) 旅行支出の推計 …………… 16
 (5) 費目別にみる旅行支出 …………… 18
 (6) 来訪目的別にみる旅行支出 …………… 19

3. 土産品の購入実態

- (1) 費目別購入率 …………… 20
 (2) 費目別購入者単価 …………… 20
 (3) 消費税免税手続きの実施状況 …… 21

4. 満足度と再訪意向

- (1) 訪日旅行全体の満足度 …………… 22
 (2) 日本への再訪意向 …………… 22

5. 旅行情報と旅行情報源

- (1) 出発前に役に立った旅行情報源 …… 23
 (2) 出発前に旅行情報を得た言語 …… 23
 (3) 日本滞在中に役に立った旅行情報源 24
 (4) 日本滞在中に役に立った旅行情報 …24

6. 日本滞在中の行動

- (1) 訪日前に期待していたこと …… 25
 (2) 今回したことと次回したいこと … 26
 (3) 今回したことの満足度 …………… 26

「訪日外国人消費動向調査」は、次に示す3つの調査から構成されている（それぞれの調査の概要についてはII編を参照のこと）。

【A1 全国調査】
【B1 地域調査】
【B2 クルーズ調査】

本報告書のI編は【A1 全国調査】及び【B1 地域調査】の結果を分析したものである。ただし、「2. 訪日外国人の旅行支出」におけるクルーズ客の消費動向では【B2 クルーズ調査】の結果を使用している。

Ⅱ 訪日外国人消費動向調査について

1. 調査の概要

(1) 調査の目的	27
(2) 調査の沿革	27
(3) 調査の根拠法令	27
(4) 調査の対象	27
(5) 抽出方法	28
(6) 目標精度と標本サイズ	28
(7) 調査事項	29
(8) 調査の時期	30
(9) 調査の方法	30

2. 用語の解説

(1) 主要項目	31
(2) 支出費目	33
(3) 買物場所	38

3. 調査の結果

(1) 表章事項	39
(2) 集計方法	39
(3) 調査結果の精度	40
(4) 利用上の注意	40

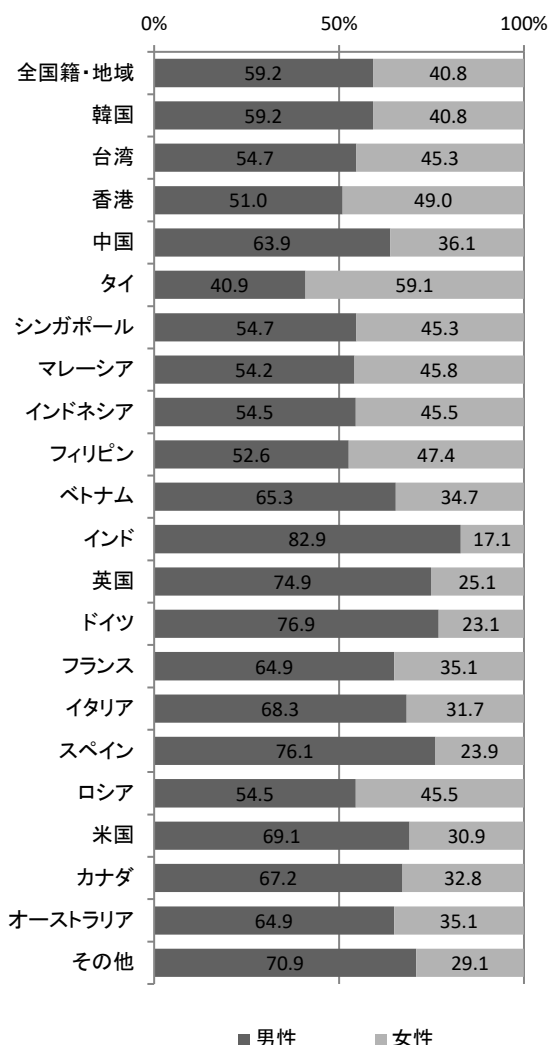
I 訪日外国人の消費動向の分析結果【2022年10-12月期】

1. 訪日外国人の属性と旅行内容

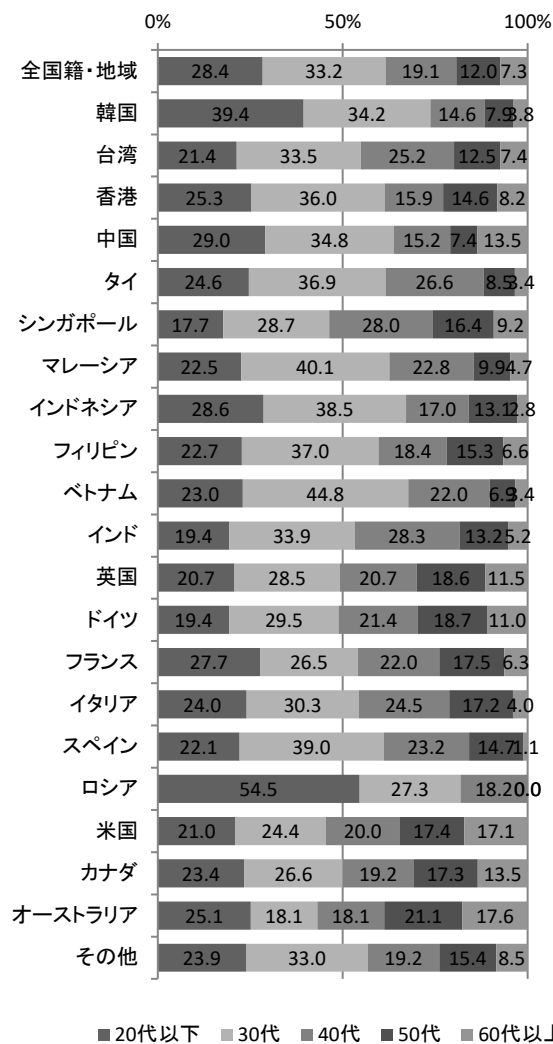
(1) 全目的

- 性別の構成比は「男性」が59.2%、「女性」が40.8%である（図表1-1）。
- 国籍・地域別にみると、タイは「女性」の割合が5割を超える。一方、インドや英国、ドイツ、スペインでは「男性」の割合が7割を超える。
- 年代別の構成比は、「20代以下」(28.4%)、「30代」(33.2%)が多い（図表1-2）。（注：年代別構成比には調査対象外である15歳未満を含まない。）
- 性年代別では「男性30代」(20.3%)、「男性20代」(14.2%)、「女性30代」(12.9%)の順が多い。

図表 1-1 性別（国籍・地域別、全目的）

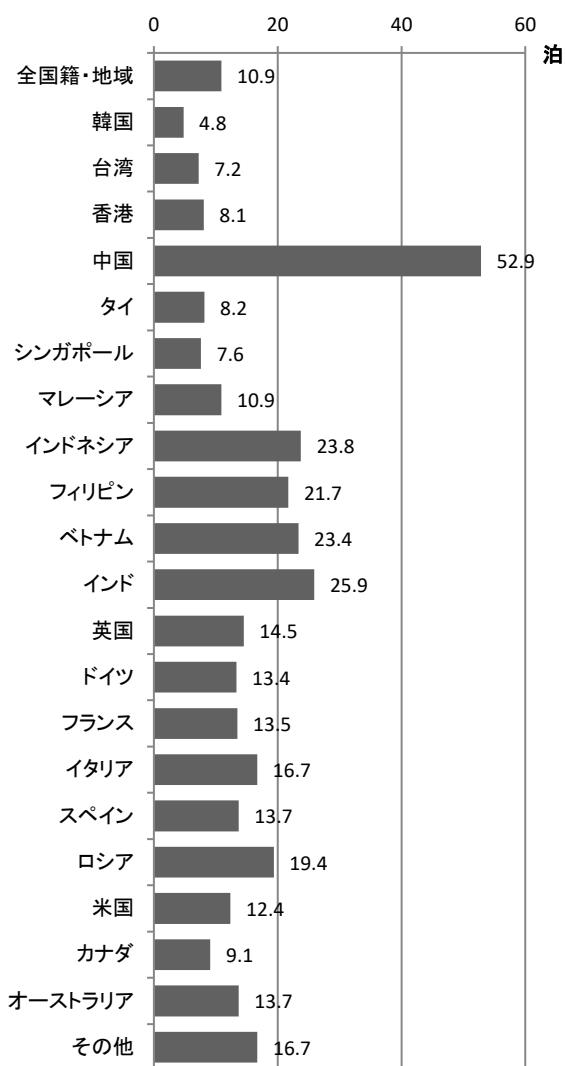


図表 1-2 年代（国籍・地域別、全目的）

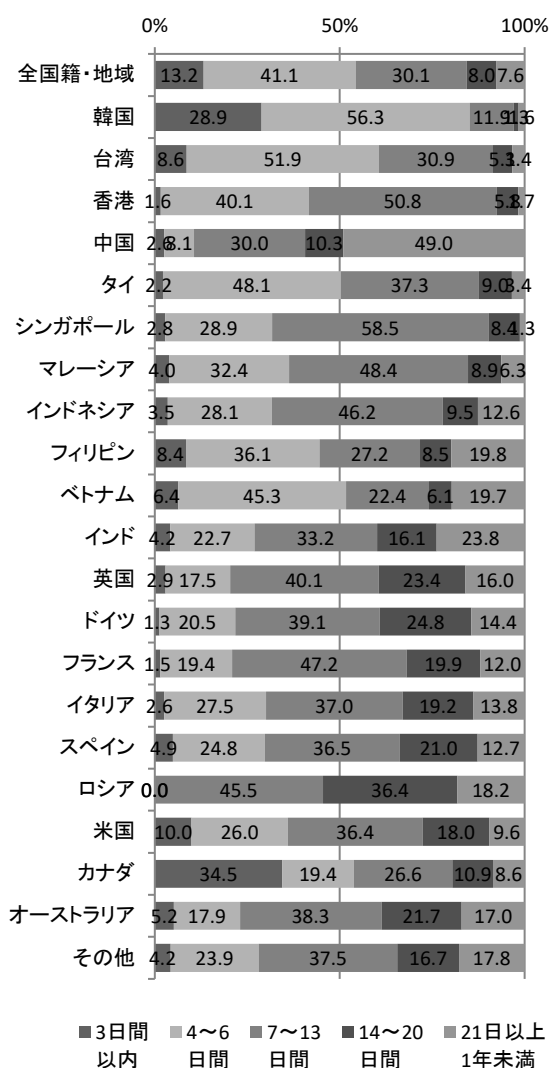


- 回答者全体の平均泊数は 10.9 泊である (図表 1-3)。
- 国籍・地域別にみると、中国が 52.9 泊と長く、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インドでも 20 泊超と長い。一方で韓国、台湾、香港、タイ、シンガポール、カナダは 10 泊未満と、他の国籍・地域に比べて平均泊数が短い。
- 滞在日数の分布をみると、6 日間以内の短期滞在者が 5 割超を占める (図表 1-4)。
- 国籍・地域別にみると、韓国とカナダで「3 日間以内」の割合が他の国籍・地域に比べて高い。一方、中国では 21 日間以上の滞在者が約 5 割を占めており、他の国籍・地域に比べて滞在日数が長い傾向がある。

図表 1-3 平均泊数 (国籍・地域別、全目的)

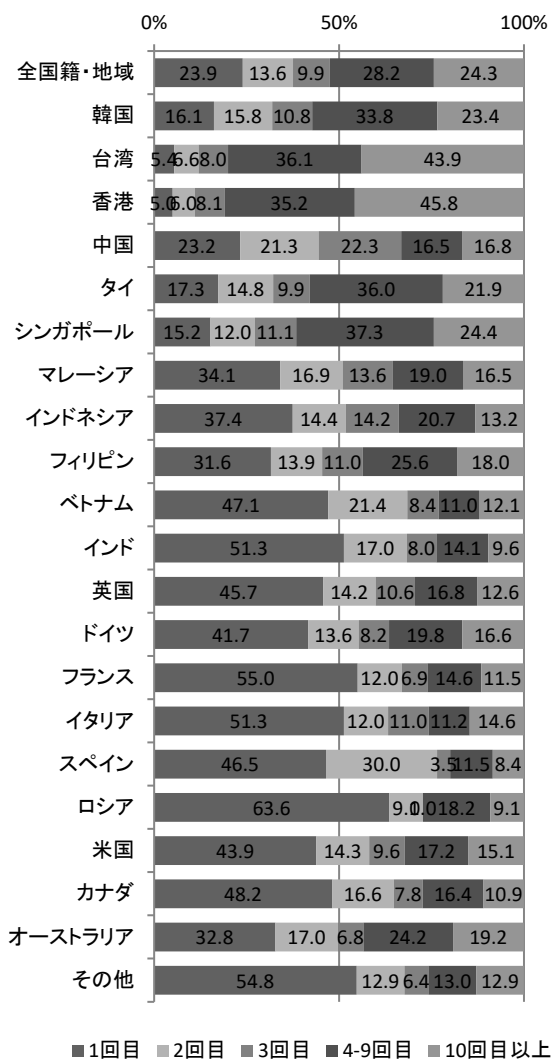


図表 1-4 滞在日数 (国籍・地域別、全目的)

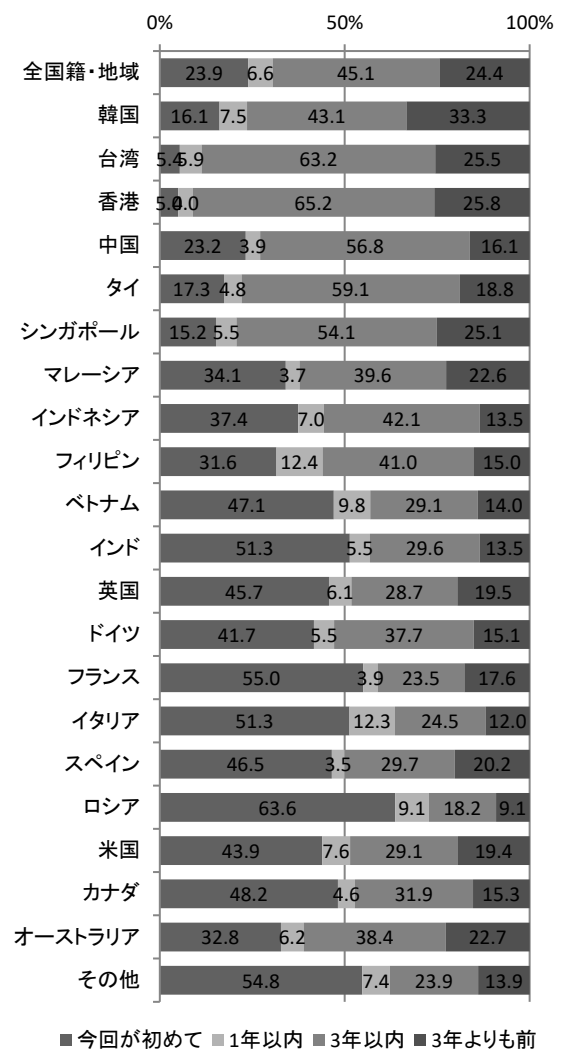


- 日本への来訪回数では、「4-9回目」が28.2%と最も多い。また、「10回目以上」が24.3%で次に多い（図表1-5）。
- 国籍・地域別では、インド、フランス、イタリア、ロシアで「1回目」の割合が5割超と高い。一方、台湾や香港では「1回目」の割合が1割未満と他の国籍・地域に比べ低い。
- 前回の日本への来訪時期では、「3年以内」が45.1%と「今回が初めて」よりも多い（図表1-6）。
- 国籍・地域別では、台湾、香港の「3年以内」の割合が6割超と他の国籍・地域に比べ高い。

図表 1-5 来訪回数（国籍・地域別、全目的）

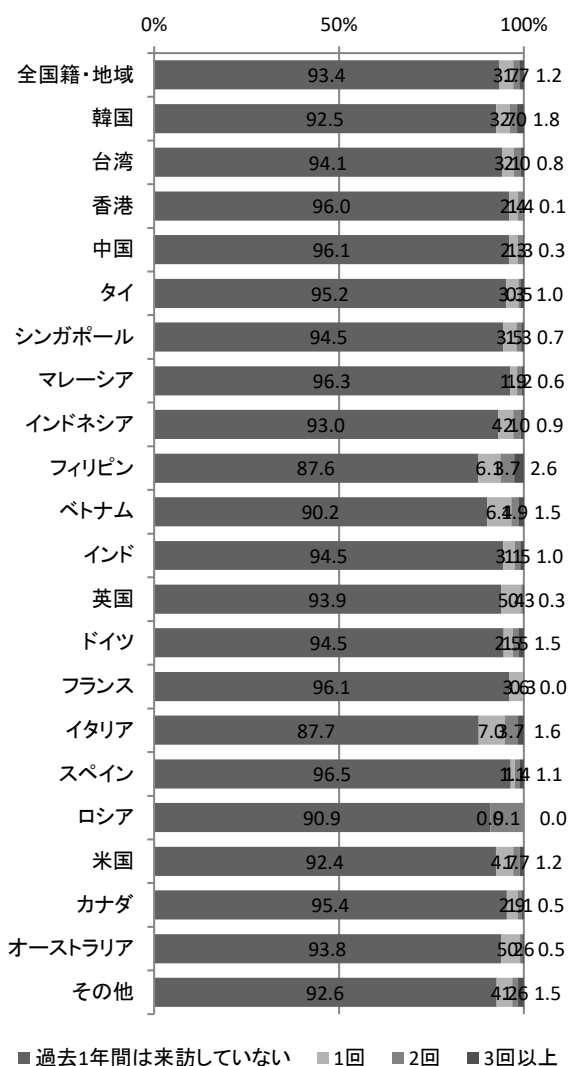


図表 1-6 前回の日本への来訪時期（国籍・地域別、全目的）

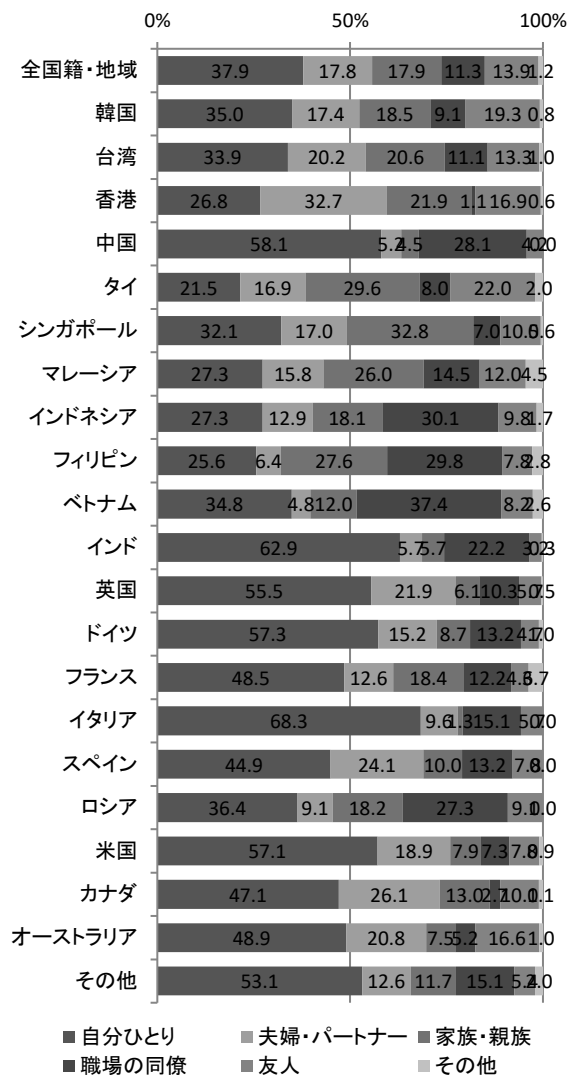


- 過去1年間の日本への来訪回数（今回を除く）では、「過去1年間は来訪していない」（0回）が93.4%を占める（図表1-7）。
- 国籍・地域別にみると、フィリピンとイタリアでは過去1年間に1回以上来訪している割合が1割超と、ほかの国籍・地域に比べて高い。
- 同行者は「自分ひとり」が37.9%と最も多い。次いで「家族・親族」（17.9%）、「夫婦・パートナー」（17.8%）、「友人」（13.9%）、「職場の同僚」（11.3%）の順となっている（図表1-8）。
- 国籍・地域別にみると、中国やインド、イタリアで「自分ひとり」の割合が6割前後と、他の国籍・地域に比べて高い。

図表 1-7 過去1年間の日本への来訪回数
（国籍・地域別、全目的）

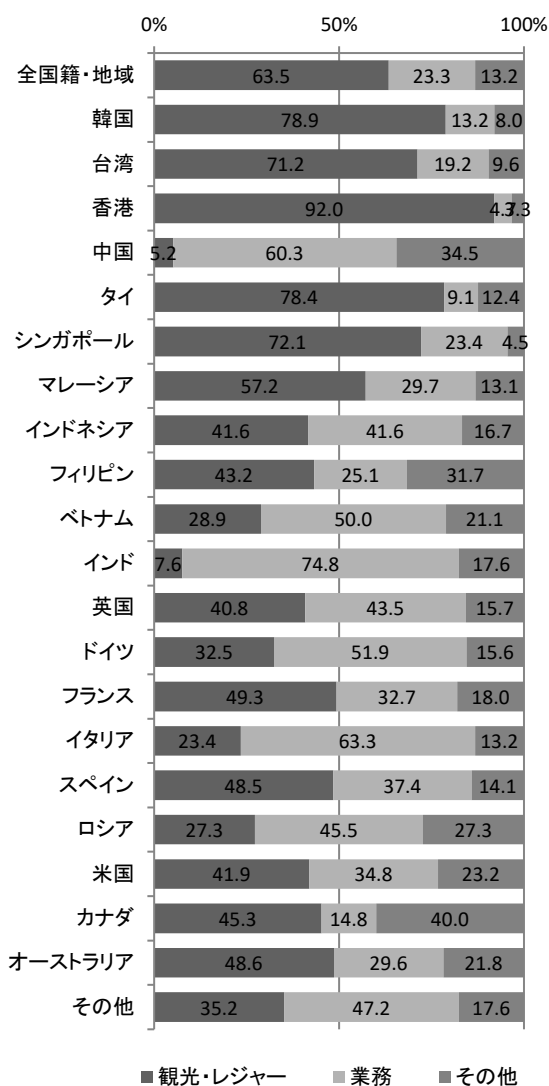


図表 1-8 同行者（国籍・地域別、全目的）

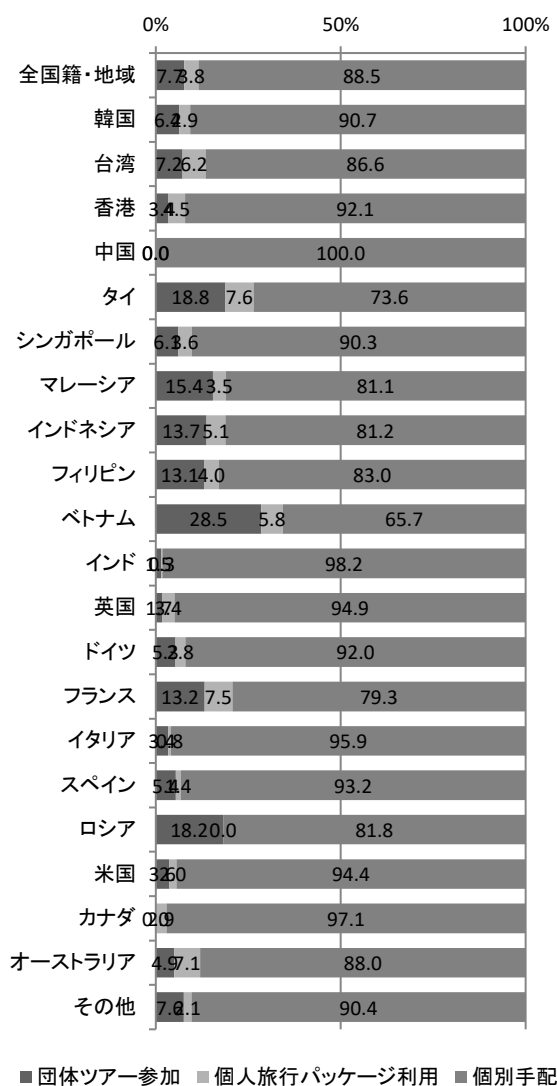


- 日本への主な来訪目的では「観光・レジャー」が全体の63.5%を占める。一方、「業務(展示会・見本市/国際会議/企業ミーティング/研修/その他ビジネス)」は全体の23.3%を占める(図表1-9)。国籍・地域別では、「観光・レジャー」の割合が香港で9割超、韓国や台湾、タイ、シンガポールで7割超と高い。「業務」はインドで7割超と他の国籍・地域に比べ高い。
- 旅行手配方法では「旅行会社等が企画した団体ツアーに参加した(以下、団体ツアー参加)」が7.7%、「往復航空(船舶)券と宿泊等がセットになった個人旅行向けパッケージ商品を利用した(以下、個人旅行パッケージ利用)」が8.8%、「往復航空(船舶)券や宿泊等を個別に手配した(以下、個別手配)」が88.5%を占める(図表1-10)。

図表 1-9 主な来訪目的(国籍・地域別、全目的)

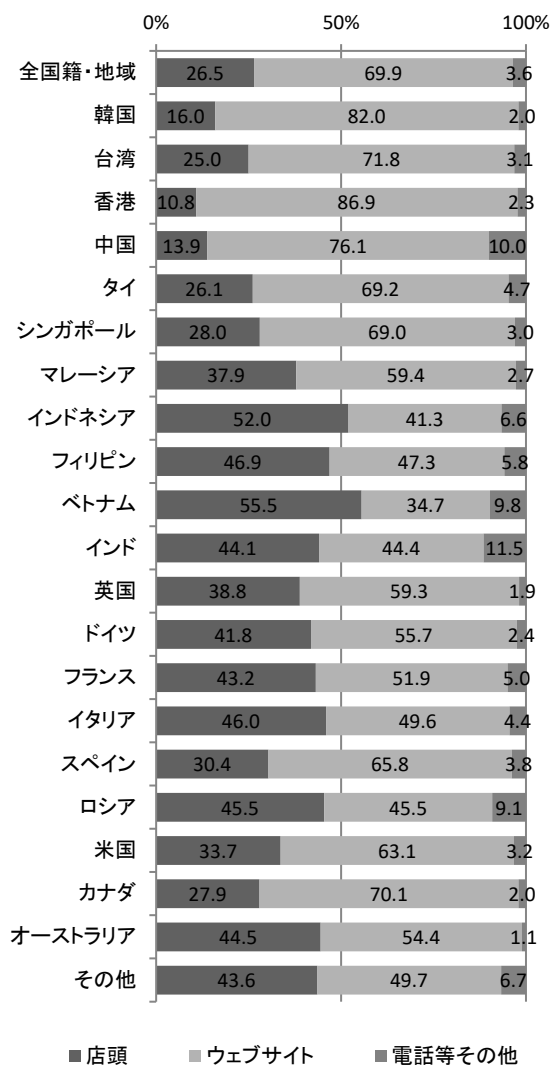


図表 1-10 旅行手配方法(国籍・地域別、全目的)



- ツアー商品や往復航空（船舶）券の**申込方法**では、「店頭（旅行会社や航空会社等）で申し込んだ（以下、**店頭**）」人の割合が全体の26.5%、「ウェブサイトから申し込んだ（以下、**ウェブサイト**）」人の割合が同69.9%を占める（図表1-11）。
- 国籍・地域別では、「店頭」の割合がインドネシアやベトナムで5割超と高い。

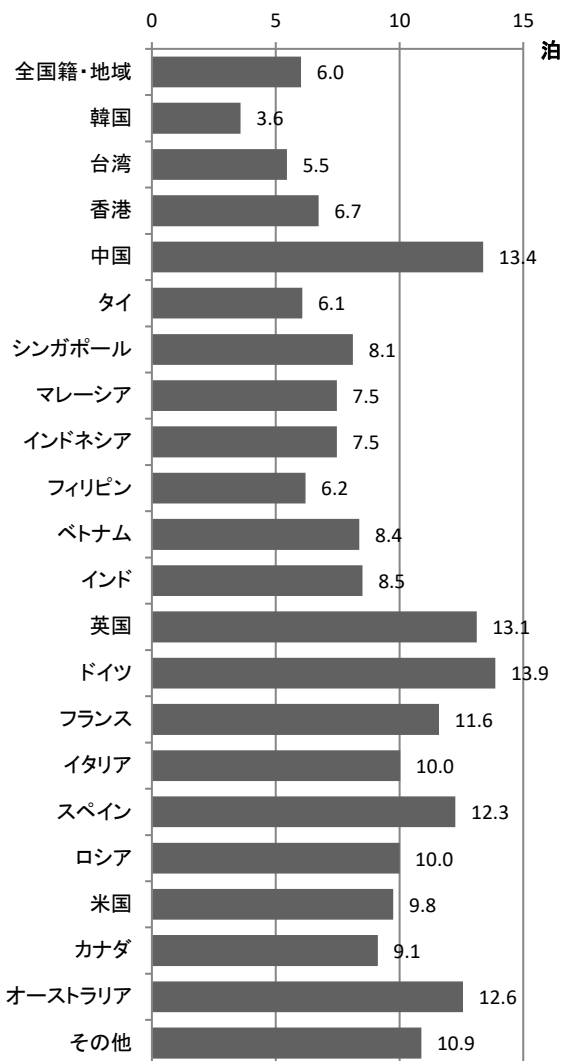
図表 1-11 申込方法（国籍・地域別、全目的）



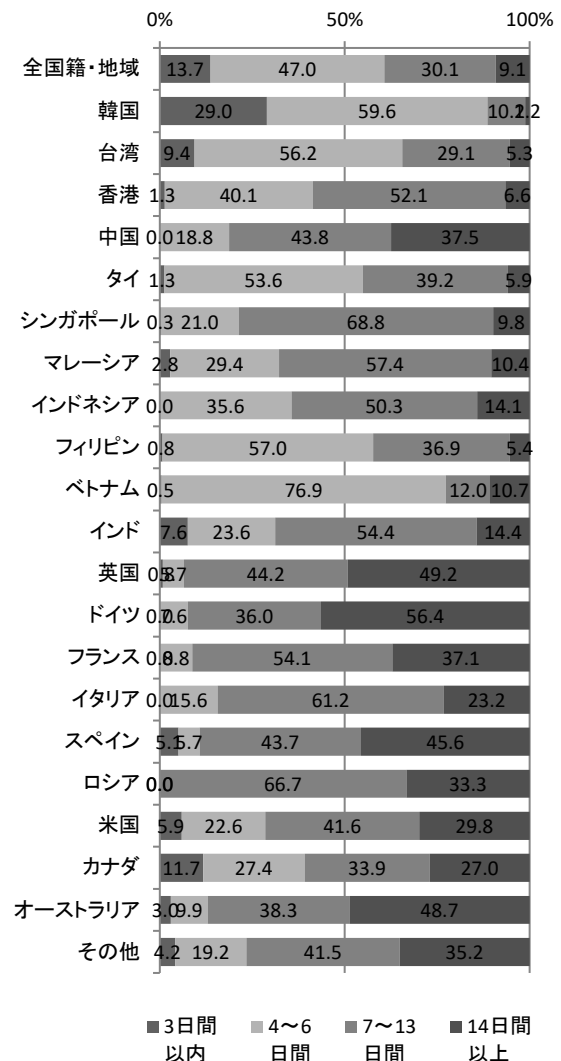
(2) 観光・レジャー目的

- 観光・レジャー目的で訪れた訪日外国人の平均泊数は6.0泊である(図表1-12)。
- 国籍・地域別にみると、中国や、英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、ロシア、オーストラリアで平均泊数が長く、10泊以上となっている。
- 滞在日数では、「4～6日間」が47.0%を占める(図表1-13)。
- 国籍・地域別にみると、韓国では「3日間以内」が29.0%と他の国籍・地域に比べて多い。ドイツでは「14日間以上」の割合が5割超と他の国籍・地域に比べ高い。

図表 1-12 平均泊数
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

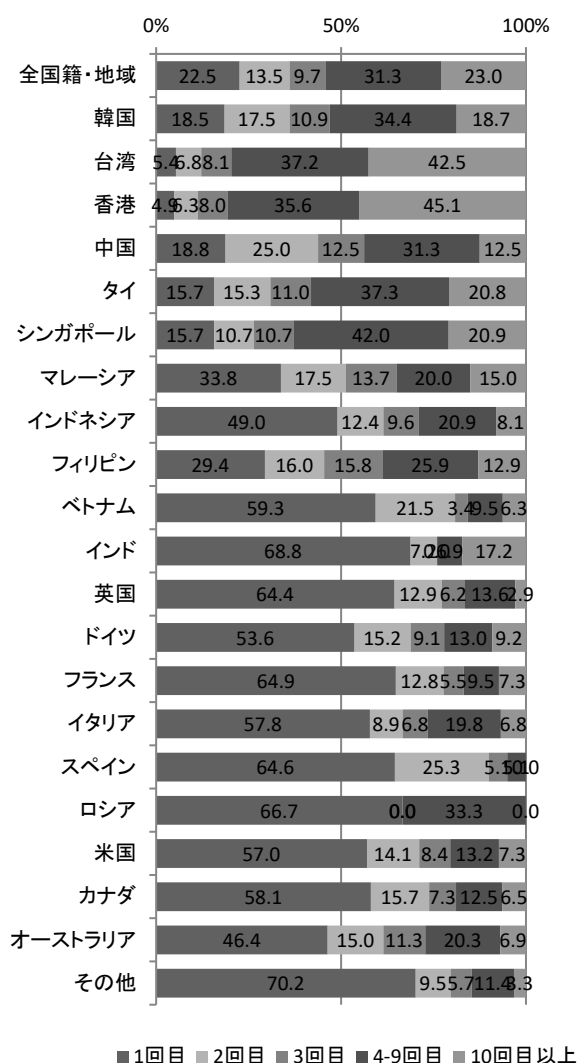


図表 1-13 滞在日数
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

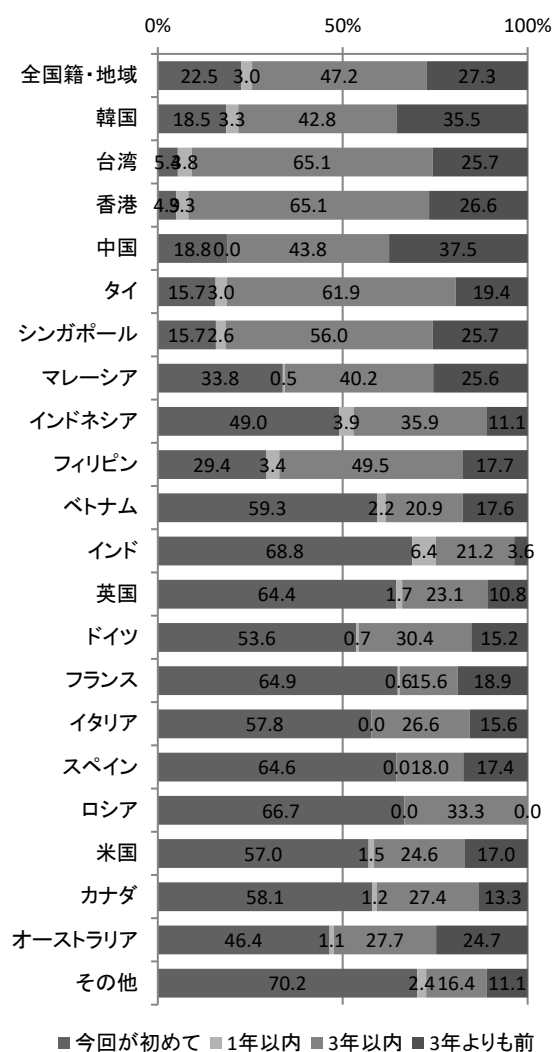


- 日本への来訪回数では、「4-9 回目」が 31.3%と最も多い。(図表 1-14)。
- 国籍・地域別では、「1 回目」の割合がインドやロシアで約 7 割と他の国籍・地域に比べ高い。一方、台湾、香港では「10 回目以上」の割合が 4 割超と他の国籍・地域に比べ高い。
- 前回の日本への来訪時期では、「3 年以内」が 47.2%で最も多い(図表 1-15)。
- 国籍・地域別では、台湾、香港、タイの「3 年以内」の割合が 6 割超と他の国籍・地域に比べ高い。

図表 1-14 来訪回数
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

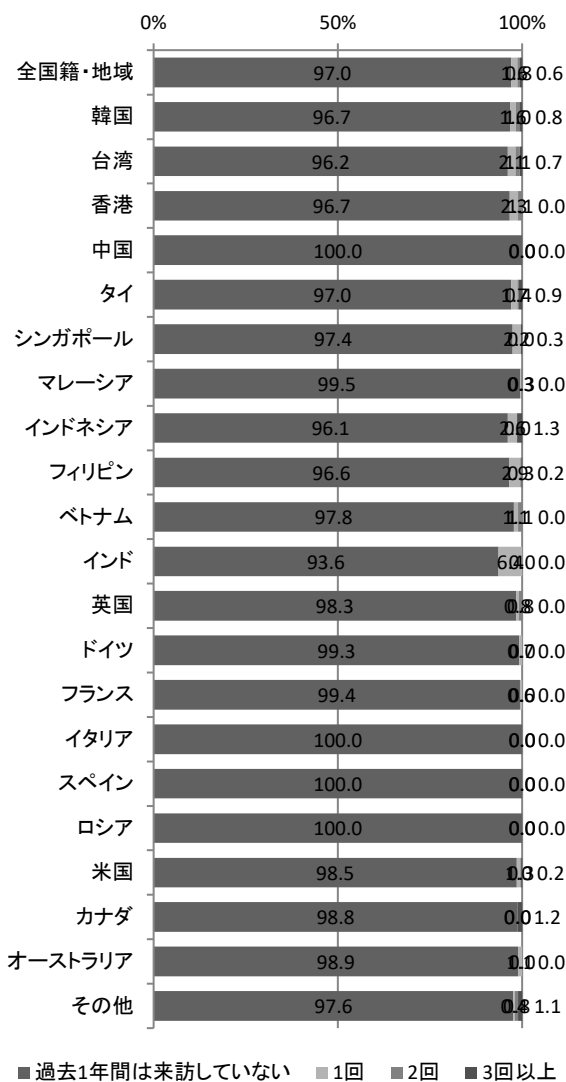


図表 1-15 前回の日本への来訪時期
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

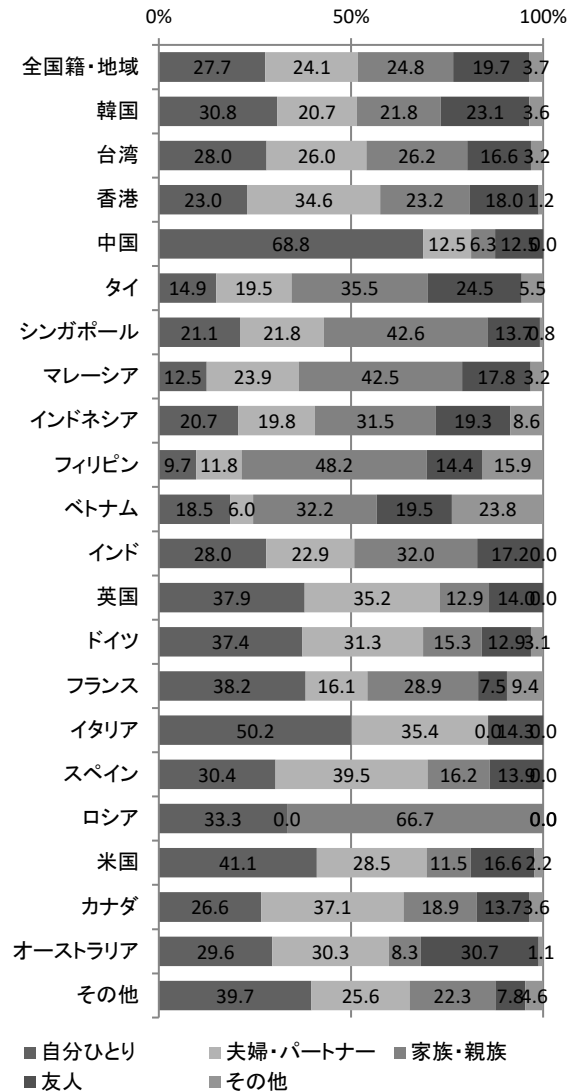


- 過去1年間の日本への来訪回数（今回を除く）では、「過去1年間は来訪していない」（0回）が97.0%を占める（図表1-7）。
- 同行者は「自分ひとり」（27.7%）、「家族・親族」（24.8%）、「夫婦・パートナー」（24.1%）、「友人」（19.7%）の順となっている（図表1-17）。
- 国籍・地域別では、中国で「自分ひとり」の割合が約7割と他の国籍・地域に比べて高い。

図表 1-16 過去1年間の日本への来訪回数
（国籍・地域別、観光・レジャー目的）

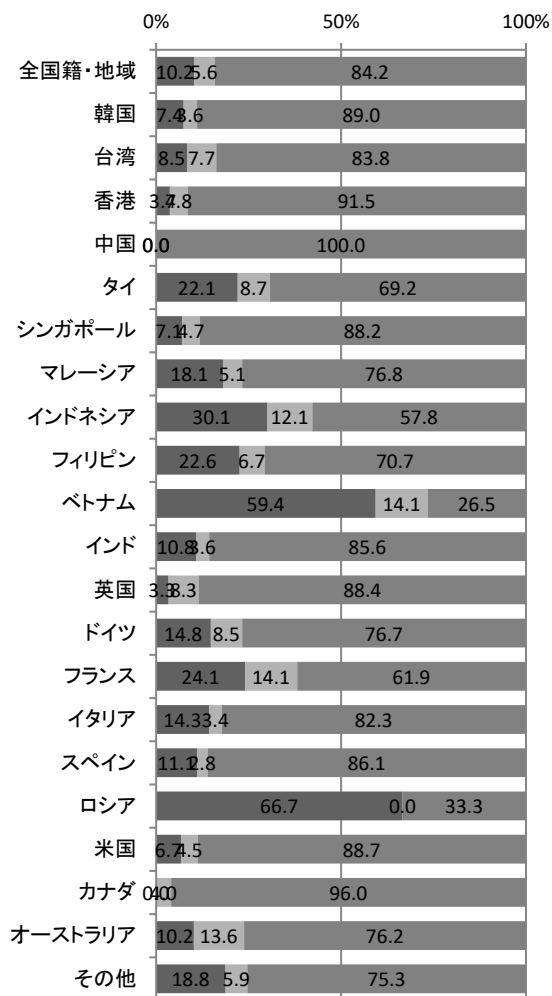


図表 1-17 同行者
（国籍・地域別、観光・レジャー目的）



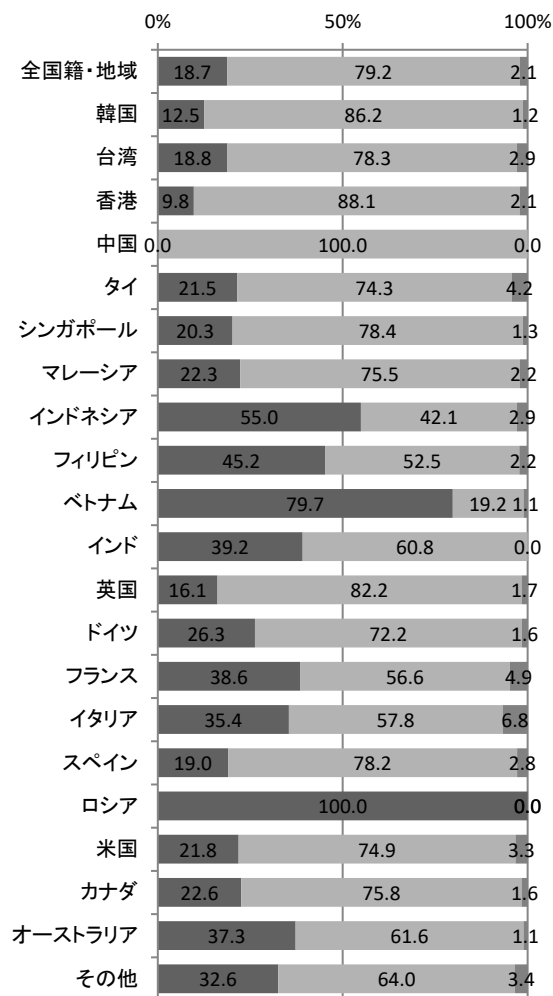
- 旅行手配方法では「団体ツアー参加」が10.2%、「個人旅行パッケージ利用」が5.6%、「個別手配」が84.2%を占める（図表 1-18）。
- ツアー商品や往復航空（船舶）券の申込方法では、「店頭」の割合が18.7%、「ウェブサイト」の割合が79.2%を占める（図表 1-19）。

図表 1-18 旅行手配方法
（国籍・地域別、観光・レジャー目的）



■ 団体ツアー参加 ■ 個人旅行パッケージ利用 ■ 個別手配

図表 1-19 申込方法
（国籍・地域別、観光・レジャー目的）



■ 店頭 ■ ウェブサイト ■ 電話等その他

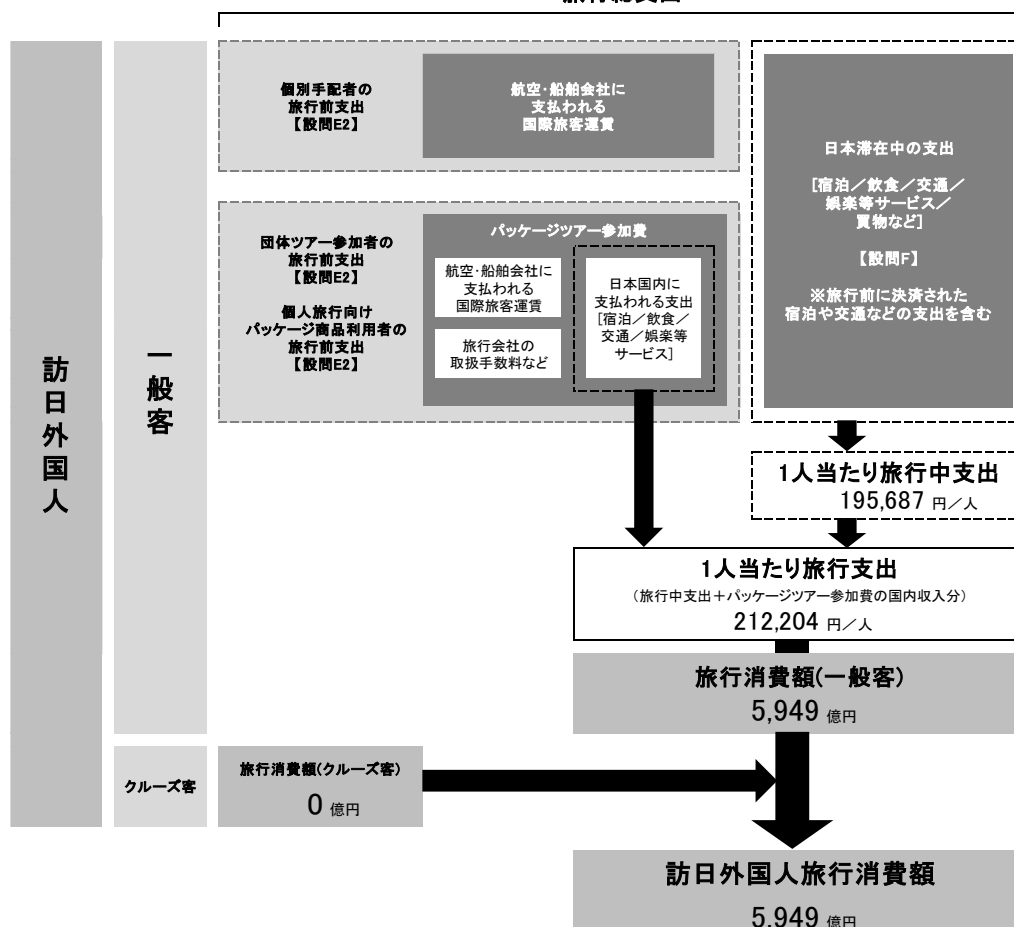
2. 訪日外国人の旅行支出

(1) 旅行支出の構造

- 本調査では、船舶観光上陸許可を得た訪日外国人をクルーズ客、これ以外の訪日外国人を一般客とする（図表 2-1）。
- 旅行前支出は旅行手配方法別に捉え方が異なる。団体ツアー参加者^{注1}及び個人旅行パッケージ利用者^{注2}についてはパッケージツアー参加費を旅行前支出として尋ねている。一方、個別手配者^{注3}については航空・船舶会社に支払われる国際旅客運賃を旅行前支出として尋ねている。
- 旅行中支出とは、日本滞在中の支出であり、宿泊費や飲食費、交通費、娯楽等サービス費、買物代など日本滞在中に支払ったすべての支出金額を尋ねている。

注1) 旅行会社等が企画した団体ツアーに参加した人
 注2) 往復航空（船舶）券と宿泊等がセットになった個人旅行向けパッケージ商品を利用した人
 注3) 往復航空（船舶）券や宿泊等を個別に手配した人

図表 2-1 訪日外国人消費動向調査における旅行支出の構造 概念図



- **パッケージツアー参加費**には、日本国内に支払われる支出（宿泊／飲食／交通／娯楽等サービス）や航空・船舶会社に支払われる国際旅客運賃などが含まれる。本調査では、このうち日本国内に支払われる支出（以下、国内収入分）を旅行中支出に加算することにより、一般客の旅行消費額（総額）を推計する。ただし、クルーズ客ではパッケージツアー参加費の国内収入分の加算は行わない。
- (2) 旅行前支出
- 一般客における**団体ツアー**の購入者単価は1人当たり平均257,335円、**個人旅行パッケージ**の購入者単価は1人当たり平均233,734円であった（図表2-2）。
 - **個別手配者**の国際旅客運賃（出発国から日本までの往復運賃）の購入者単価は一般客1人当たり平均122,513円であった。
- (3) 旅行中支出
- 一般客が日本滞在中に支出した**旅行中支出**は1人当たり平均195,687円であった。旅行手配方法別では、**団体ツアー参加者**では1人当たり平均79,755円、**個人旅行パッケージ利用者**では1人当たり平均118,830円、**個別手配者**では1人当たり平均209,091円であった（図表2-3）。
 - 旅行前支出と旅行中支出を合算した**旅行総支出**は、一般客1人当たり平均332,831円であった（図表2-4）。

図表 2-2 一般客 1 人当たり旅行前支出（旅行手配方法別）

【団体ツアー参加者】			【個人旅行パッケージ利用者】			【個別手配者】		
国籍・地域	(%)	(円/人)	国籍・地域	(%)	(円/人)	国籍・地域	(%)	(円/人)
国籍・地域	団体ツアー参加率	団体ツアー購入者単価	国籍・地域	個人旅行パッケージ利用率	個人旅行パッケージ購入者単価	国籍・地域	個別手配比率	国際旅客運賃購入者単価
全国籍・地域	7.7%	257,335	全国籍・地域	3.8%	233,734	全国籍・地域	88.5%	122,513
韓国	6.4%	88,112	韓国	2.9%	76,117	韓国	90.7%	46,179
台湾	7.2%	189,549	台湾	6.2%	124,455	台湾	86.6%	82,210
香港	3.4%	264,517	香港	4.5%	158,346	香港	92.1%	98,854
中国	0.0%	-	中国	0.0%	-	中国	100.0%	261,822
タイ	18.8%	188,581	タイ	7.6%	167,672	タイ	73.6%	114,137
シンガポール	6.1%	411,114	シンガポール	3.6%	292,094	シンガポール	90.3%	131,620
マレーシア	15.4%	258,432	マレーシア	3.5%	260,182	マレーシア	81.1%	146,016
インドネシア	13.7%	211,160	インドネシア	5.1%	324,324	インドネシア	81.2%	151,237
フィリピン	13.1%	215,855	フィリピン	4.0%	222,053	フィリピン	83.0%	109,911
ベトナム	28.5%	258,269	ベトナム	5.8%	225,676	ベトナム	65.7%	125,649
インド	1.5%	317,172	インド	0.3%	527,790	インド	98.2%	154,066
英国	1.7%	1,016,240	英国	3.4%	746,456	英国	94.9%	286,936
ドイツ	5.3%	615,541	ドイツ	2.8%	566,616	ドイツ	92.0%	262,891
フランス	13.2%	558,275	フランス	7.5%	472,474	フランス	79.3%	220,032
イタリア	3.4%	1,182,893	イタリア	0.8%	247,439	イタリア	95.9%	197,392
スペイン	5.4%	663,719	スペイン	1.4%	873,315	スペイン	93.2%	195,158
ロシア	18.2%	298,148	ロシア	0.0%	-	ロシア	81.8%	170,909
米国	3.6%	779,967	米国	2.0%	687,654	米国	94.4%	245,792
カナダ	0.0%	-	カナダ	2.9%	250,989	カナダ	97.1%	187,851
オーストラリア	4.9%	823,540	オーストラリア	7.1%	710,237	オーストラリア	88.0%	168,000
その他	7.6%	513,613	その他	2.1%	517,937	その他	90.4%	231,757

図表 2-3 一般客 1 人当たり旅行中支出（国籍・地域別）

国籍・地域	(円/人)	(円/人)	(円/人)	(円/人)	b.平均泊数	(円/人泊)	(円/人泊)	(円/人泊)	(円/人泊)
	a.旅行中支出	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者		c.1泊当たり旅行中支出 (=a/b)	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者
全国籍・地域	195,687	79,755	118,830	209,091	10.9	17,940	14,133	18,255	18,093
韓国	105,970	51,733	72,059	110,869	4.8	22,115	17,653	25,264	22,241
台湾	202,216	77,511	136,470	217,355	7.2	27,947	16,951	27,266	28,531
香港	267,188	128,140	201,501	275,569	8.1	33,132	22,608	32,098	33,440
中国	615,453	-	-	615,453	52.9	11,641	-	-	11,641
タイ	169,703	82,711	106,927	198,467	8.2	20,765	19,759	18,486	21,023
シンガポール	236,016	77,362	80,276	252,943	7.6	30,987	10,402	11,216	33,077
マレーシア	175,812	71,633	58,378	200,723	10.9	16,128	12,861	10,811	16,515
インドネシア	177,600	40,605	61,739	207,986	23.8	7,477	8,051	8,521	7,442
フィリピン	143,841	64,019	154,417	155,902	21.7	6,624	10,122	5,516	6,540
ベトナム	180,406	96,923	133,775	220,782	23.4	7,720	14,720	24,268	6,849
インド	222,926	53,476	39,300	226,055	25.9	8,603	4,429	5,614	8,635
英国	253,143	74,038	117,127	261,177	14.5	17,432	5,003	8,866	17,934
ドイツ	219,913	64,978	82,321	232,951	13.4	16,468	5,388	6,656	17,309
フランス	209,289	40,171	116,857	246,170	13.5	15,495	4,243	9,786	17,182
イタリア	253,495	57,418	158,652	261,147	16.7	15,192	4,530	15,865	15,469
スペイン	245,427	34,382	8,822	261,101	13.7	17,901	3,016	980	18,767
ロシア	412,028	801,890	-	325,392	19.4	21,278	100,236	-	14,866
米国	261,037	139,668	146,511	268,089	12.4	21,111	11,082	16,210	21,571
カナダ	183,376	-	79,843	186,490	9.1	20,119	-	9,320	20,424
オーストラリア	269,292	71,372	197,563	286,172	13.7	19,625	4,786	19,514	20,522
その他	241,267	105,346	97,832	255,939	16.7	14,437	11,128	9,749	14,649

図表 2-4 一般客 1 人当たり旅行総支出（国籍・地域別）

国籍・地域	(円/人)	(円/人)	(円/人)	(円/人)	b.平均泊数	(円/人泊)	(円/人泊)	(円/人泊)	(円/人泊)
	a.旅行総支出	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者		c.1泊当たり旅行総支出 (=a/b)	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者
全国籍・地域	332,831	337,090	352,564	331,605	10.9	30,512	59,735	54,161	28,695
韓国	155,693	139,844	148,176	157,047	4.8	32,492	47,718	51,951	31,504
台湾	294,819	267,060	260,925	299,565	7.2	40,744	58,403	52,131	39,322
香港	374,397	392,657	359,847	374,424	8.1	46,426	69,277	57,321	45,436
中国	877,274	-	-	877,274	52.9	16,593	-	-	16,593
タイ	301,933	271,292	274,599	312,604	8.2	36,944	64,811	47,474	33,113
シンガポール	390,441	488,477	372,371	384,564	7.6	51,261	65,678	52,025	50,289
マレーシア	343,178	330,065	318,560	346,740	10.9	31,481	59,259	58,993	28,529
インドネシア	345,817	251,766	386,063	359,223	23.8	14,559	49,917	53,283	12,854
フィリピン	272,038	279,874	376,469	265,812	21.7	12,527	44,253	13,448	11,151
ベトナム	349,688	355,192	359,452	346,432	23.4	14,965	53,943	65,208	10,746
インド	380,486	370,648	567,090	380,121	25.9	14,683	30,695	81,013	14,520
英国	567,953	1,090,278	863,582	548,113	14.5	39,111	73,667	65,373	37,637
ドイツ	509,831	680,519	648,936	495,842	13.4	38,178	56,434	52,472	36,843
フランス	492,902	598,446	589,331	466,201	13.5	36,493	63,216	49,352	32,540
イタリア	484,374	1,240,311	406,091	458,539	16.7	29,028	97,853	40,609	27,162
スペイン	475,138	698,101	882,137	456,259	13.7	34,657	61,237	98,015	32,794
ロシア	606,072	1,100,038	-	496,301	19.4	31,299	137,505	-	22,674
米国	534,855	919,636	834,166	513,881	12.4	43,255	72,968	92,293	41,347
カナダ	373,070	-	330,832	374,340	9.1	40,932	-	38,619	40,937
オーストラリア	508,058	894,912	907,800	454,172	13.7	37,025	60,010	89,665	32,570
その他	500,283	618,960	615,769	487,697	16.7	29,935	65,380	61,360	27,913

(4) 旅行支出の推計

- 一般客の旅行支出及び旅行消費額は、訪日外国人が日本国内で支払った旅行中支出に、パッケージツアー参加費に含まれる宿泊費や飲食費、交通費などの国内収入分（以下、パッケージ内訳）を加算することにより推計する。
 - 今期のパッケージ内訳は1人当たり平均16,517円と推計される（図表2-5）。
- 旅行中支出にパッケージ内訳を加えた今期の旅行支出は1人当たり平均195,687円と推計され、今期の一般客の旅行消費額は5,949億円と推計される。
- 2022年10-12月期はクルーズの就航はなかったため、2022年10-12月期の訪日外国人旅行消費額は5,949億円と推計される。

図表 2-5 訪日外国人1人当たり旅行支出と訪日外国人旅行消費額の推移

年	一般客								クルーズ客			訪日外国人旅行消費額		
	a. 日本国内での旅行中支出 (パッケージ内訳を含まない)		b. パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分 (パッケージ内訳)		c. 旅行支出 (パッケージ内訳を含む) (=a+b)		d. 一般客数	e. 旅行消費額 (=c×d)	f. 旅行中支出	g. クルーズ客数	h. 旅行消費額 (=f×g)	k. 訪日外国人旅行消費額 (=e+h)		
	(円/人)	(円/人)	(円/人)	(円/人)	(人)	(億円)	(人)	(億円)	(人)	(億円)	(億円)	(億円)		
		2019年比	2019年比	2019年比	注2							2019年比		
2019年	137,948	-	20,583	-	158,531	-	29,855,742	47,331	39,710	2,026,307	805	48,135	-	
2022年	220,563	59.9%	13,960	-32.2%	234,524	47.9%	3,832,110	8,987	-	0	0	8,987	-81.3%	
四 半 期	2019年1-3月期	130,034	-	17,379	-	147,413	-	7,693,723	11,342	48,631	360,074	175	11,517	-
	2019年4-6月期	134,203	-	20,764	-	154,967	-	8,050,409	12,475	37,244	529,408	197	12,673	-
	2019年7-9月期	140,952	-	21,907	-	162,860	-	7,093,271	11,552	38,473	690,935	266	11,818	-
	2019年10-12月期	147,883	-	22,551	-	170,434	-	7,018,339	11,962	37,352	445,890	167	12,128	-
	2022年1-3月期	349,401	168.7%	331	-98.1%	349,732	137.2%	100,606	352	-	0	0	352	-96.9%
	2022年4-6月期	255,034	90.0%	2,159	-89.6%	257,193	66.0%	407,024	1,047	-	0	0	1,047	-91.7%
	2022年7-9月期	302,589	114.7%	12,055	-45.0%	314,644	93.2%	521,121	1,640	-	0	0	1,640	-86.1%
	2022年10-12月期	195,687	32.3%	16,517	-26.8%	212,204	24.5%	2,803,359	5,949	-	0	0	5,949	-51.0%

注1) パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分は、パッケージツアーに参加していない個人手配者(参加費0円)も含めた全体平均の値である。
 注2) 訪日客数(日本政府観光局、暫定値)からクルーズ客数を控除した値。
 注3) 船舶観光上陸許可を得た訪日外国人の人数(法務省「出入国管理統計」)
 注4) 2022年1-3月期、2022年4-6月期、2022年7-9月期、2022年10-12月期の訪日外国人旅行消費額は試算値。
 注5) 新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年4-6月期から2021年7-9月期は調査を中止し、2020年及び2021年暦年については、1四半期の結果を利用した試算を行った結果、7,446億円(2020年)、1,208億円(2021年)となった。このため、2019年の数値との比較には留意が必要である。
 なお、2020年及び2021年暦年については本表への掲載は割愛している。

【一般客の旅行消費額の推計方法（パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分の加算）】

一般客のパッケージツアー参加費には、「出発国から日本までの往復運賃」に加え、日本に支払われる「宿泊費」「飲食費」「交通費」「娯楽等サービス費」が含まれているものと仮定する。これらの費目のうち、「出発国から日本までの往復運賃」を除く費目の支出を、日本国内に支払われる支出（国内収入分）とみなす。

一般客の旅行消費額は、「旅行中支出」に「パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分」の金額を加算することにより推計する。パッケージツアー参加費の内訳は、観光・レジャー目的の個人手配者の旅行支出における費目別構成比を用いて配分した。なお、この配分は国籍・地域毎（20市場と「その他の国籍・地域」の21区分）に行っている。

なお、本報告書で推計している訪日外国人旅行消費額には、日本の航空会社及び船舶会社に支払われる国際旅客運賃（往復運賃）が含まれない点に留意されたい。

- 一般客の旅行消費額を国籍・地域別にみると、①韓国 993 億円（構成比 16.7%）、②香港 723 億円（同 12.1%）、③米国 704 億円（同 11.8%）、④台湾 654 億円（同 11.0%）、⑤中国 468 億円（同 7.9%）の順となっている。
- 前述の上位 5 ヶ国・地域合計で 3,542 億円（構成比 59.5%）を占める。エリア別では、東アジア 4 ヶ国・地域合計で 2,838 億円（同 47.7%）、東南アジア 6 ヶ国（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム）合計で 1,232 億円（同 20.7%）、欧州 5 ヶ国（英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン）合計で 329 億円（同 5.5%）となっている。

図表 2-6 一般客1人当たり旅行支出と旅行消費額（国籍・地域別）

2022年10-12月期	(円/人)		(円/人)		(円/人)		(人)		(億円)		
	a. 日本国内での 旅行中支出 (パッケージ内訳を含まない)		b. パッケージ ツアー参加費 に含まれる 国内収入分 (パッケージ内訳)		c. 旅行支出 (パッケージ内訳を含む) (=a+b)		d. 一般客数 (クルーズ客を除く)		e. 旅行消費額 (クルーズ客を除く) (=c×d)		
	2019年比		注1	2019年比	2019年比	2019年比	2019年比	構成比	2019年比		
全国籍・地域	195,687	32.3%	16,517	212,204	24.5%	2,803,359	-60.1%	5,949	100.0%	-50.3%	
韓国	105,970	32.2%	5,039	111,009	30.5%	894,545	38.3%	993	16.7%	80.4%	
台湾	202,216	138.4%	12,480	214,696	97.5%	304,720	-72.6%	654	11.0%	-45.9%	
香港	267,188	94.0%	10,159	277,348	81.2%	260,545	-58.2%	723	12.1%	-24.2%	
中国	615,453	236.0%	0	615,453	198.4%	76,081	-95.8%	468	7.9%	-87.5%	
タイ	169,703	62.8%	25,982	195,685	60.9%	169,189	-62.4%	331	5.6%	-39.5%	
シンガポール	236,016	32.8%	21,963	257,979	39.7%	121,700	-41.2%	314	5.3%	-17.9%	
マレーシア	175,812	58.4%	24,731	200,543	51.9%	62,520	-67.3%	125	2.1%	-50.3%	
インドネシア	177,600	48.2%	27,374	204,974	56.9%	62,456	-52.0%	128	2.2%	-24.7%	
フィリピン	143,841	43.3%	19,872	163,713	47.9%	76,417	-63.7%	125	2.1%	-46.3%	
ベトナム	180,406	15.7%	44,464	224,869	19.9%	92,592	-22.0%	208	3.5%	-6.5%	
インド	222,926	42.7%	3,321	226,247	31.1%	21,810	-45.8%	49	0.8%	-28.9%	
英国	253,143	-1.6%	22,490	275,633	-15.8%	39,213	-70.1%	108	1.8%	-74.8%	
ドイツ	219,913	14.4%	26,261	246,174	8.2%	26,361	-55.2%	65	1.1%	-51.6%	
フランス	209,289	1.2%	60,704	269,992	4.8%	32,654	-61.1%	88	1.5%	-59.2%	
イタリア	253,495	45.5%	23,381	276,877	32.5%	14,672	-61.5%	41	0.7%	-49.0%	
スペイン	245,427	24.8%	27,466	272,893	8.0%	9,926	-68.5%	27	0.5%	-65.9%	
ロシア	412,028	123.1%	43,543	455,571	103.3%	5,138	-85.8%	23	0.4%	-71.0%	
米国	261,037	45.7%	23,855	284,892	43.4%	247,015	-44.0%	704	11.8%	-19.8%	
カナダ	183,376	0.8%	3,775	187,151	-6.9%	46,325	-55.3%	87	1.5%	-58.3%	
オーストラリア	269,292	20.6%	56,897	326,189	14.9%	73,705	-56.7%	240	4.0%	-50.2%	
その他	241,267	2.1%	28,095	269,362	-2.3%	165,775	-55.8%	447	7.5%	-56.8%	

注1) パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分は、パッケージツアーに参加していない個人手配者（参加費0円）も含めた全体平均の値である。

注2) 訪日外客数（日本政府観光局、暫定値）からクルーズ客数を控除した値。

注3) 国籍・地域別の結果については、従来に比べて入国者数が少ないため十分な回答数が確保できない等の理由から、標準誤差率の大きい国籍・地域もあるため、留意されたい。

(5) 費目別にみる旅行支出

- 一般客の費目別旅行支出（パッケージ内訳を含む）を国籍・地域別にみると、全体的に中国が高く、「宿泊費」は17.7万円、「買物代」は20.4万円となっている（図表2-7）。
- 一般客の費目別旅行消費額（パッケージ内訳を含む）を国籍・地域別にみると、「宿泊費」は米国が313億円、「飲食費」は韓国が260億円、「買物代」は台湾が296億円と高くなっている。（図表2-8）。
- 旅行消費額の費目別構成比をみると、インドや英国、ドイツ、イタリア、スペイン、米国、カナダでは「宿泊費」の割合が4割超と高い傾向がみられる。台湾、香港では「買物代」が4割超と高い割合を占める。

図表2-7 費目別にみる一般客1人当たり旅行支出（国籍・地域別）

国籍・地域	【費目別旅行支出】						
	旅行支出総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等サービス費	買物代	その他
全国籍・地域	212,204	71,349	46,223	22,657	9,373	62,565	36
韓国	111,009	33,827	29,114	9,895	6,934	31,205	34
台湾	214,696	54,299	39,215	18,718	5,378	97,016	70
香港	277,348	72,510	60,608	24,342	8,483	111,377	28
中国	615,453	176,751	110,659	37,648	86,809	203,585	0
タイ	195,685	53,202	44,712	24,295	4,883	68,592	0
シンガポール	257,979	92,660	53,461	28,780	6,182	76,827	70
マレーシア	200,543	79,964	41,183	24,747	6,487	47,914	248
インドネシア	204,974	80,090	37,242	27,087	4,487	56,067	0
フィリピン	163,713	53,402	33,260	17,197	3,790	56,055	8
ベトナム	224,869	66,987	38,956	27,089	3,866	87,972	0
インド	226,247	91,190	52,030	25,138	6,272	51,616	0
英国	275,633	126,473	61,080	37,834	6,763	43,399	85
ドイツ	246,174	115,476	51,769	37,536	7,354	33,889	151
フランス	269,992	104,114	62,295	41,309	15,648	46,627	0
イタリア	276,877	124,048	59,089	40,392	6,945	46,402	0
スペイン	272,893	112,679	58,895	45,421	24,008	31,890	0
ロシア	455,571	141,981	73,919	59,514	76,533	103,624	0
米国	284,892	126,857	64,342	36,791	7,704	49,179	19
カナダ	187,151	75,294	39,314	26,054	7,043	39,446	0
オーストラリア	326,189	123,851	74,253	43,202	15,772	69,111	0
その他	269,362	116,409	62,180	35,468	8,904	46,360	40

図表2-8 費目別にみる一般客の旅行消費額（国籍・地域別）

国籍・地域	【費目別旅行消費額】							【費目別旅行消費額 構成比】(ヨコ計100%)					
	消費額総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等サービス費	買物代	その他	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等サービス費	買物代	その他
全国籍・地域	5,949	2,000	1,296	635	263	1,754	1	33.6%	21.8%	10.7%	4.4%	29.5%	0.0%
韓国	993	303	260	89	62	279	0	30.5%	26.2%	8.9%	6.2%	28.1%	0.0%
台湾	654	165	119	57	16	296	0	25.3%	18.3%	8.7%	2.5%	45.2%	0.0%
香港	723	189	158	63	22	290	0	26.1%	21.9%	8.8%	3.1%	40.2%	0.0%
中国	468	134	84	29	66	155	0	28.7%	18.0%	6.1%	14.1%	33.1%	0.0%
タイ	331	90	76	41	8	116	0	27.2%	22.8%	12.4%	2.5%	35.1%	0.0%
シンガポール	314	113	65	35	8	93	0	35.9%	20.7%	11.2%	2.4%	29.8%	0.0%
マレーシア	125	50	26	15	4	30	0	39.9%	20.5%	12.3%	3.2%	23.9%	0.1%
インドネシア	128	50	23	17	3	35	0	39.1%	18.2%	13.2%	2.2%	27.4%	0.0%
フィリピン	125	41	25	13	3	43	0	32.6%	20.3%	10.5%	2.3%	34.2%	0.0%
ベトナム	208	62	36	25	4	81	0	29.8%	17.3%	12.0%	1.7%	39.1%	0.0%
インド	49	20	11	5	1	11	0	40.3%	23.0%	11.1%	2.8%	22.8%	0.0%
英国	108	50	24	15	3	17	0	45.9%	22.2%	13.7%	2.5%	15.7%	0.0%
ドイツ	65	30	14	10	2	9	0	46.9%	21.0%	15.2%	3.0%	13.8%	0.1%
フランス	88	34	20	13	5	15	0	38.6%	23.1%	15.3%	5.8%	17.3%	0.0%
イタリア	41	18	9	6	1	7	0	44.8%	21.3%	14.6%	2.5%	16.8%	0.0%
スペイン	27	11	6	5	2	3	0	41.3%	21.6%	16.6%	8.8%	11.7%	0.0%
ロシア	23	7	4	3	4	5	0	31.2%	16.2%	13.1%	16.8%	22.7%	0.0%
米国	704	313	159	91	19	121	0	44.5%	22.6%	12.9%	2.7%	17.3%	0.0%
カナダ	87	35	18	12	3	18	0	40.2%	21.0%	13.9%	3.8%	21.1%	0.0%
オーストラリア	240	91	55	32	12	51	0	38.0%	22.8%	13.2%	4.8%	21.2%	0.0%
その他	447	193	103	59	15	77	0	43.2%	23.1%	13.2%	3.3%	17.2%	0.0%

(6) 来訪目的別にみる旅行支出

- 来訪目的別に一般客の旅行支出（パッケージ内訳を含む）をみると、「観光・レジャー」は1人当たり平均195,576円、「業務」は同253,657円、「その他」は同218,831円となっている（図表2-9）。

図表2-9 来訪目的別にみる一般客1人当たり旅行支出（主要国籍・地域別）

主な来訪目的		観光・レジャー	業務 注1	その他 注2	MICE 関連 注3 (再掲)
旅行 支出 (円/人)	全国籍・地域	195,576	253,657	218,831	215,622
	韓国	105,672	134,052	125,706	119,509
	台湾	189,087	314,558	205,019	227,758
	香港	273,725	269,037	389,292	259,821
	中国	443,289	570,085	720,485	360,318
	米国	336,813	276,854	203,232	276,850

【参考】

一般客 目的別 構成比 (%) 注1 注2 注3 注4 注5 注6 注7 注8 注9 注10 注11 注12 注13 注14 注15 注16 注17 注18 注19 注20 注21 注22 注23 注24 注25 注26 注27 注28 注29 注30 注31 注32 注33 注34 注35 注36 注37 注38 注39 注40 注41 注42 注43 注44 注45 注46 注47 注48 注49 注50 注51 注52 注53 注54 注55 注56 注57 注58 注59 注60 注61 注62 注63 注64 注65 注66 注67 注68 注69 注70 注71 注72 注73 注74 注75 注76 注77 注78 注79 注80 注81 注82 注83 注84 注85 注86 注87 注88 注89 注90 注91 注92 注93 注94 注95 注96 注97 注98 注99 注100		全国籍・地域	韓国	台湾	香港	中国	米国	MICE 関連 注3 (再掲)
一般客 目的別 構成比 (%) 注1 注2 注3 注4 注5 注6 注7 注8 注9 注10 注11 注12 注13 注14 注15 注16 注17 注18 注19 注20 注21 注22 注23 注24 注25 注26 注27 注28 注29 注30 注31 注32 注33 注34 注35 注36 注37 注38 注39 注40 注41 注42 注43 注44 注45 注46 注47 注48 注49 注50 注51 注52 注53 注54 注55 注56 注57 注58 注59 注60 注61 注62 注63 注64 注65 注66 注67 注68 注69 注70 注71 注72 注73 注74 注75 注76 注77 注78 注79 注80 注81 注82 注83 注84 注85 注86 注87 注88 注89 注90 注91 注92 注93 注94 注95 注96 注97 注98 注99 注100	全国籍・地域	63.5	23.3	13.2	10.8			
	韓国	78.9	13.2	8.0	7.3			
	台湾	71.2	19.2	9.6	8.1			
	香港	92.0	4.7	3.3	1.4			
	中国	5.2	60.3	34.5	9.4			
	米国	41.9	34.8	23.2	11.7			

回答数注4		観光・レジャー	業務 注1	その他 注2	MICE 関連 注3 (再掲)
回答数注4	全国籍・地域	5,959	3,186	1,681	1,416
	韓国	1,435	307	192	174
	台湾	975	326	148	136
	香港	862	60	43	19
	中国	16	187	107	29
	米国	543	483	321	162

注1)「業務」は、主な来訪目的が「展示会・見本市」「国際会議」「企業ミーティング」「研修」「その他ビジネス」の回答の集計結果である。

注2)「その他」は、主な来訪目的が「親族・知人訪問」「ハネムーン」「学校関連の旅行」「スポーツ・スポーツ観戦」「イベント」「留学」「治療・検診」「インセンティブツアー」「トランジット」「その他」の回答の集計結果である。

注3)「MICE関連」は、主な来訪目的が「イベント」「インセンティブツアー」「展示会・見本市」「国際会議」「企業ミーティング」「研修」の回答の集計結果である。

注4) 回答数の少ない数値については取り扱いに留意されたい。

3. 土産品の購入実態

(1) 費目別購入率

- 費目別の購入率（その費目を購入した人の割合）は「菓子類」（68.2%）、「その他食料品・飲料・たばこ」（43.1%）、「衣類」（34.8%）の順で高い（図表 3-1）。
- 国籍・地域別で最も購入率が高い費目は、韓国と台湾、香港、中国で「菓子類」（それぞれ 77.1%、75.3%、64.7%、78.1%）、米国で「その他食料品・飲料・たばこ」（48.9%）となっている。

(2) 費目別購入者単価

- 費目別の購入者単価（その費目を購入した人における当該費目の1人当たり平均支出）は、「宝石・貴金属」が18.0万円と最も高い（図表 3-1）。
- 国籍・地域別では、台湾の「宝石・貴金属」（122.0万円）や香港の「時計・フィルムカメラ」（43.0万円）が他の国籍・地域に比べ高い。

図表 3-1 買物代の費目別購入率および購入者単価（主要国籍・地域別、全目的）

費目	国籍・地域		韓国		台湾		香港		中国		米国	
	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)
菓子類	68.2%	11,711	77.1%	8,122	75.3%	13,807	64.7%	14,849	78.1%	18,335	44.2%	10,873
酒類	23.7%	12,255	31.4%	9,836	19.7%	12,169	16.9%	17,586	21.6%	30,598	26.6%	13,634
生鮮農産物	4.5%	18,246	1.6%	7,667	6.8%	7,051	11.9%	10,911	11.9%	33,474	3.4%	24,222
その他食料品・飲料・たばこ	43.1%	11,582	41.7%	6,902	37.2%	9,400	40.1%	12,026	50.0%	22,321	48.9%	16,392
化粧品・香水	20.5%	24,030	15.1%	11,826	27.4%	24,059	36.0%	26,998	59.4%	73,312	7.9%	17,594
医薬品	20.1%	15,579	23.6%	8,918	46.6%	23,397	36.0%	17,035	31.3%	22,770	2.6%	4,021
健康グッズ・トイレットリー	8.8%	16,364	7.0%	9,889	19.1%	22,472	13.3%	15,896	28.7%	21,765	3.0%	12,155
衣類	34.8%	31,467	23.2%	26,108	38.5%	37,231	56.4%	44,803	34.2%	48,219	32.3%	34,893
靴・かばん・革製品	21.0%	57,267	10.4%	45,702	24.5%	70,780	42.3%	69,918	32.3%	132,929	12.4%	40,104
電気製品	5.5%	50,032	1.6%	20,253	12.0%	53,326	4.8%	40,348	20.6%	80,079	4.0%	36,788
時計・フィルムカメラ	2.2%	117,850	0.5%	20,508	1.2%	198,534	2.0%	429,584	7.4%	283,120	1.8%	75,108
宝石・貴金属	1.8%	179,979	0.9%	102,529	0.8%	1,219,856	1.8%	160,659	3.2%	209,231	3.2%	54,975
民芸品・伝統工芸品	7.4%	18,297	2.8%	7,764	3.7%	60,655	4.7%	13,180	1.3%	28,503	19.1%	19,277
本・雑誌・ガイドブックなど	4.2%	10,140	2.9%	5,282	3.5%	26,015	6.4%	10,147	5.2%	14,672	6.4%	10,461
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	3.0%	20,355	2.7%	16,049	2.6%	17,728	4.3%	32,915	2.6%	22,313	3.6%	26,857
その他買物代	8.2%	30,386	7.8%	17,171	5.9%	74,684	9.9%	36,055	1.3%	407,518	13.0%	29,670

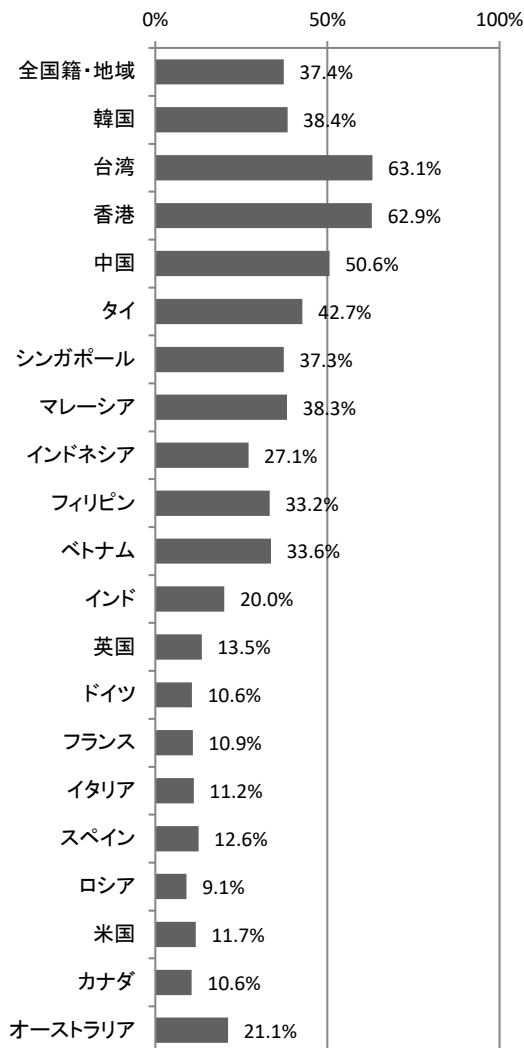
図表 3-2 買物代の費目別購入率および購入者単価（主要国籍・地域別、観光・レジャー目的）

費目	国籍・地域		韓国		台湾		香港		中国		米国	
	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)
菓子類	72.0%	11,408	77.4%	7,961	74.8%	12,253	64.3%	14,790	50.0%	61,826	50.5%	10,984
酒類	24.4%	11,069	32.0%	9,443	18.9%	10,977	16.7%	16,683	12.5%	25,500	28.0%	15,279
生鮮農産物	4.7%	8,055	1.2%	5,455	8.2%	6,821	12.6%	10,869	0.0%	-	3.4%	5,304
その他食料品・飲料・たばこ	43.7%	9,507	43.5%	6,341	35.8%	8,398	41.0%	11,816	56.3%	28,993	52.3%	14,832
化粧品・香水	22.7%	19,045	15.8%	10,559	29.4%	22,764	36.8%	26,187	50.0%	48,836	10.9%	17,691
医薬品	24.4%	14,211	25.9%	8,149	48.1%	22,478	36.7%	16,939	12.5%	5,210	3.2%	3,413
健康グッズ・トイレットリー	9.8%	15,404	7.7%	9,483	20.6%	23,692	13.9%	15,993	6.3%	90,000	3.3%	13,935
衣類	38.7%	30,334	25.2%	24,421	43.7%	32,395	57.7%	43,109	25.0%	59,116	39.7%	31,153
靴・かばん・革製品	23.4%	54,233	11.2%	42,797	26.7%	62,178	43.1%	69,930	6.3%	79,950	15.4%	47,800
電気製品	4.9%	41,580	1.4%	16,444	12.3%	56,763	5.0%	39,284	6.3%	40,000	4.1%	26,400
時計・フィルムカメラ	1.9%	98,382	0.5%	23,451	1.1%	67,958	2.0%	373,431	0.0%	-	2.5%	94,563
宝石・貴金属	1.7%	122,783	0.8%	126,582	0.4%	122,282	1.8%	122,981	0.0%	-	4.4%	56,756
民芸品・伝統工芸品	7.1%	15,697	3.0%	7,416	3.7%	13,063	4.9%	13,611	0.0%	-	23.0%	22,860
本・雑誌・ガイドブックなど	4.2%	10,358	3.0%	4,967	2.7%	39,471	6.3%	8,353	6.3%	899	6.6%	8,494
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	3.3%	20,382	2.8%	13,647	2.2%	21,942	4.2%	35,629	12.5%	36,502	5.2%	20,216
その他買物代	9.2%	28,646	8.7%	17,143	6.6%	30,185	10.1%	36,443	6.3%	600,000	15.3%	39,419

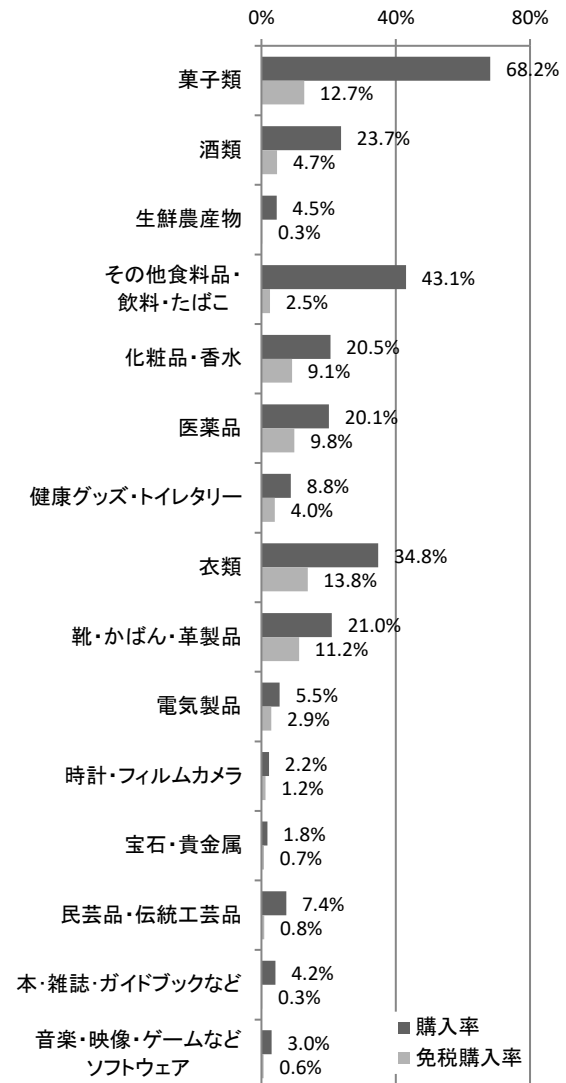
(3) 消費税免税手続きの実施状況

- 今回の日本滞在中に消費税免税手続きを実施した人の割合は全体の 37.4%である (図表 3-3)。
- 国籍・地域別にみると、台湾や香港で 6 割超と高い。一方、英国やドイツ、フランス、イタリア、スペイン、ロシア、米国、カナダでは約 1 割と他の国籍・地域に比べて低い。
- 買物代の費目別に、消費税免税手続きをして当該費目を購入した人の割合 (費目別の免税購入率、分母は一般客全体) をみると、「衣類」(13.8%) が最も高く、次いで「菓子類」(12.7%)、「靴・かばん・革製品」(11.2%)、「医薬品」(9.8%) の順で高くなっている (図表 3-4)。

図表 3-3 消費税免税手続きの実施率 (国籍・地域別)



図表 3-4 費目別購入率と費目別の免税購入率 (全国籍・地域、複数回答)

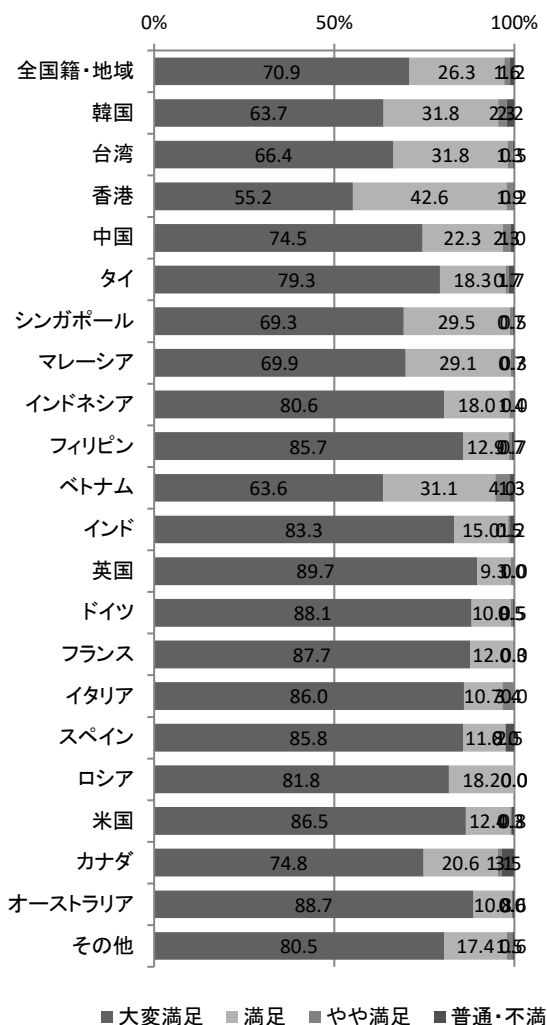


4. 満足度と再訪意向

(1) 訪日旅行全体の満足度

- 今回の訪日旅行全体の満足度は「大変満足」70.9%、「満足」26.3%である（図表 4-1）。
- 国籍・地域別では、インドネシアやフィリピン、インド、英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、ロシア、米国、オーストラリアで「大変満足」の割合が8割超と高い。

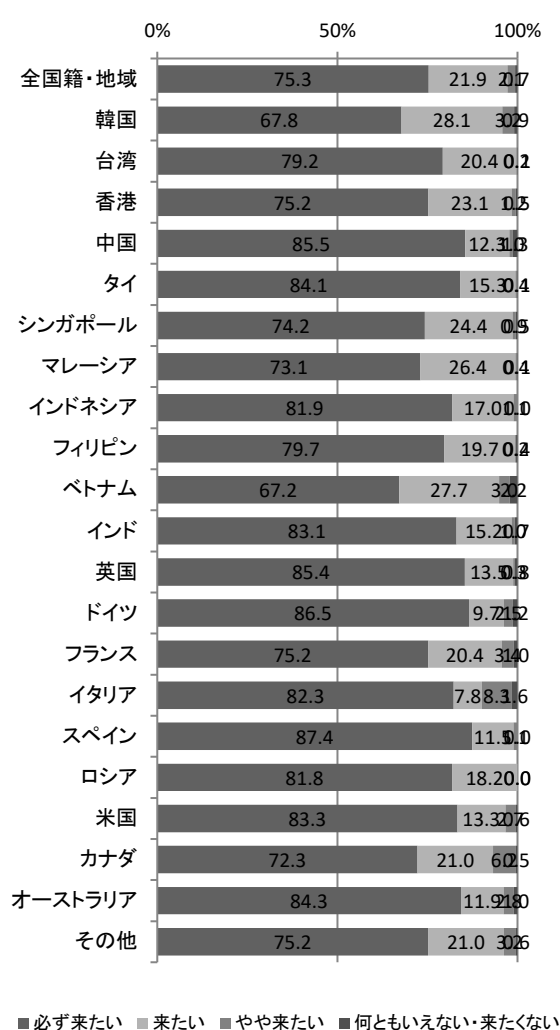
図表 4-1 訪日旅行全体の満足度（国籍・地域別）



(2) 日本への再訪意向

- 日本への再訪意向では、「必ず来たい」が75.3%、「来たい」が21.9%である（図表 4-2）。
- 国籍・地域別では、中国、タイ、インドネシア、インド、英国、ドイツ、イタリア、スペイン、ロシア、米国、オーストラリアで「必ず来たい」の割合が8割超と高い。

図表 4-2 日本への再訪意向（国籍・地域別）



5. 旅行情報と旅行情報源

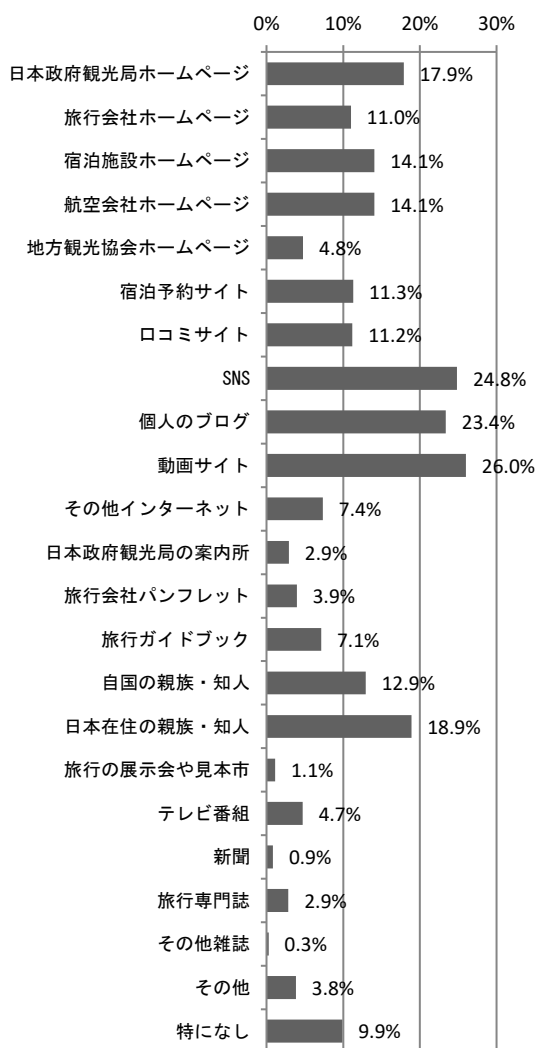
(1) 出発前に役に立った旅行情報源

- 出発前に役に立った旅行情報源では、「動画サイト」(26.0%)、「SNS」(24.8%)、「個人のブログ」(23.4%)の順が多い(図表5-1)。
- 「日本政府観光局ホームページ」の選択率は17.9%、「日本政府観光局の案内所」の選択率は2.9%であった。

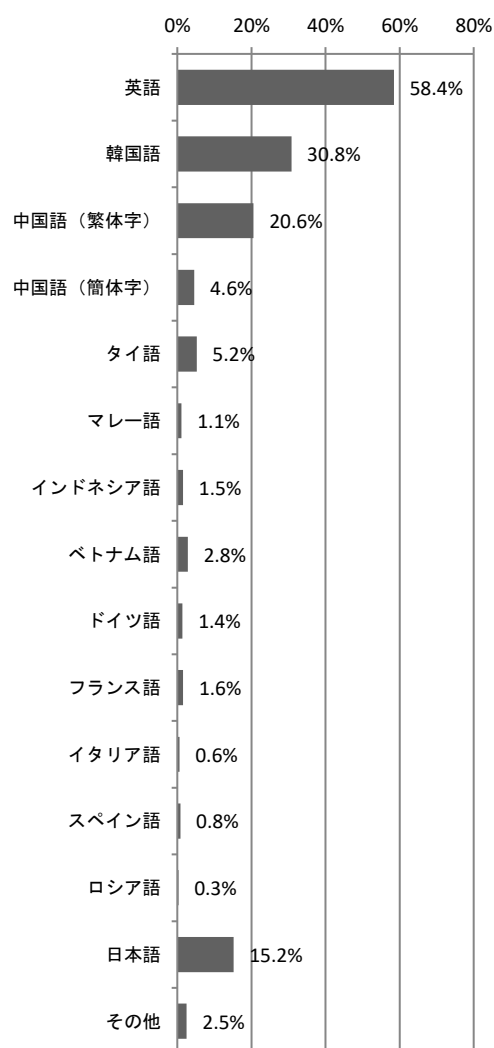
(2) 出発前に旅行情報を得た言語

- 出発前に役に立った旅行情報源の言語では、「英語」が58.4%と最も多い。次いで、「韓国語」(30.8%)、「中国語(繁体字)」(20.6%)、「日本語」(15.2%)の順が多い(図表5-2)。

図表 5-1 出発前に役に立った旅行情報源
(全国籍・地域、複数回答)



図表 5-2 出発前に役に立った旅行情報源の言語
(全国籍・地域、複数回答)



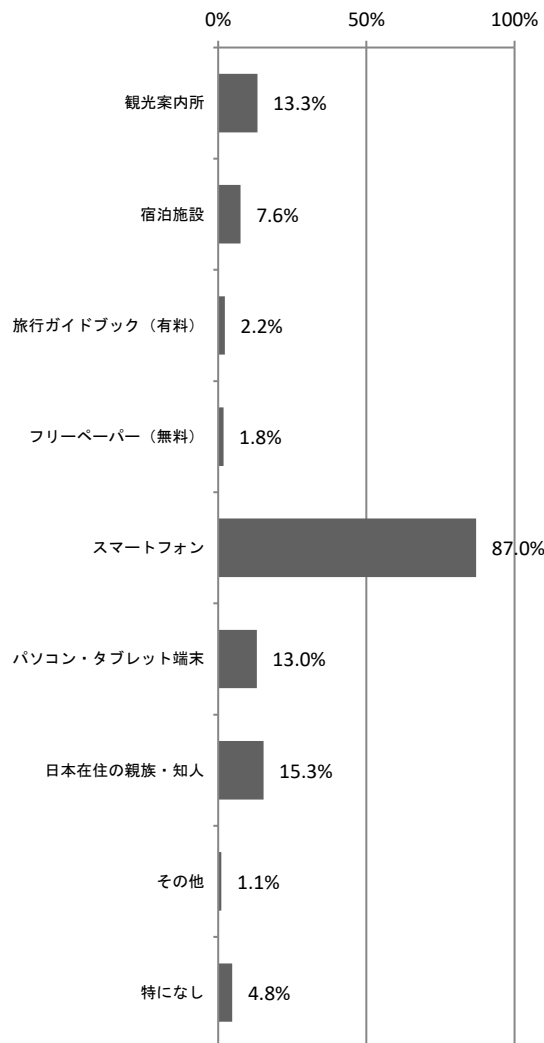
(3) 日本滞在中に役に立った旅行情報源

- 日本滞在中に役に立った旅行情報源では、「スマートフォン」が87.0%と最も多い。次いで「日本在住の親族・知人」(15.3%)、「観光案内所」(13.3%)、「パソコン・タブレット端末」(13.0%)、「宿泊施設」(7.6%)の順で多い(図表5-3)。

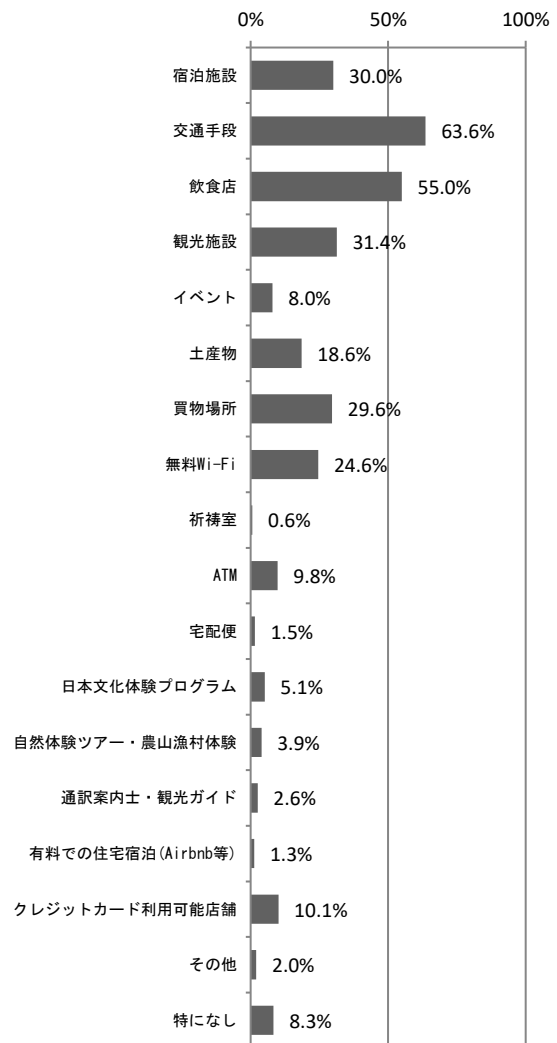
(4) 日本滞在中に役に立った旅行情報

- 日本滞在中に役に立った旅行情報では、「交通手段」が63.6%と最も多い。次いで「飲食店」(55.0%)、「観光施設」(31.4%)、「宿泊施設」(30.0%)、「買物場所」(29.6%)「無料Wi-Fi」(24.6%)の順で多い(図表5-4)。

図表 5-3 日本滞在中に役に立った旅行情報源 (全国籍・地域、複数回答)



図表 5-4 日本滞在中に役に立った旅行情報 (全国籍・地域、複数回答)

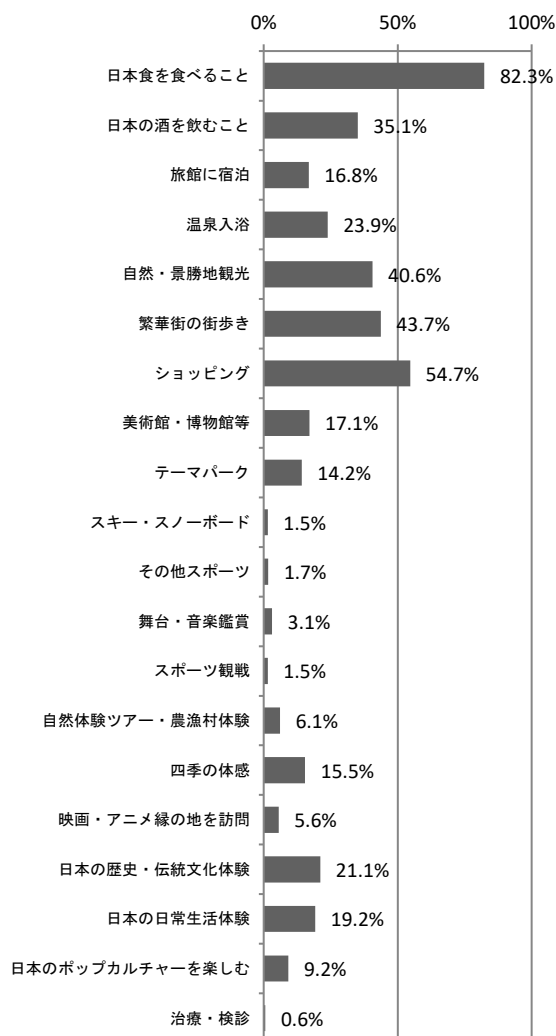


6. 日本滞在中の行動

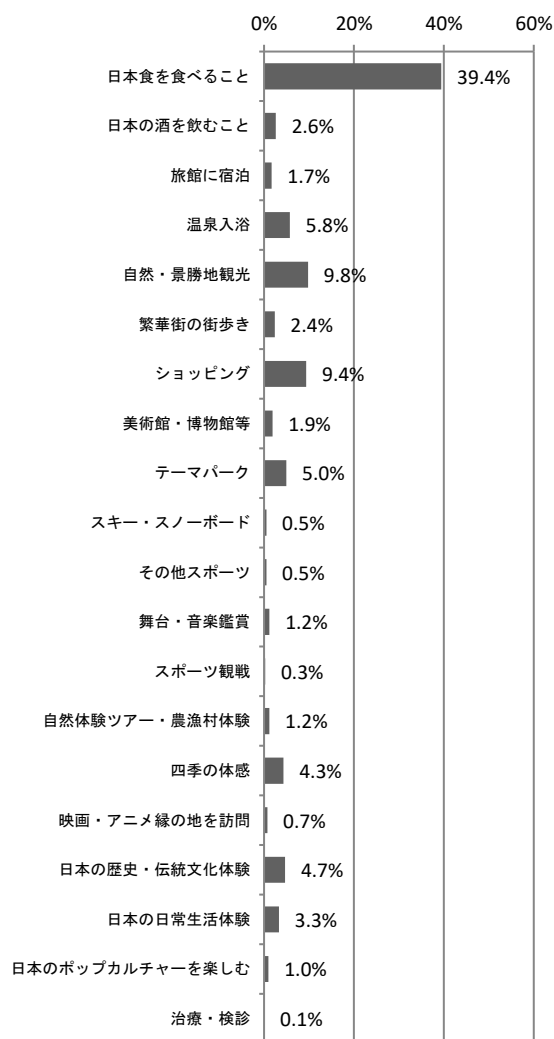
(1) 訪日前に期待していたこと

- 訪日前に期待していたことを複数回答で尋ねたところ、「日本食を食べること」が82.3%と最も多かった。次いで「ショッピング」(54.7%)、「繁華街の街歩き」(43.7%)、「自然・景勝地観光」(40.6%)の順で多い(図表6-1)。
- 訪日前に最も期待していたことを単一回答で尋ねたところ、「日本食を食べること」(39.4%)、「自然・景勝地観光」(9.8%)、「ショッピング」(9.4%)、「温泉入浴」(5.8%)の順となった(図表6-2)。

図表 6-1 訪日前に期待していたこと
(全国籍・地域、複数回答)



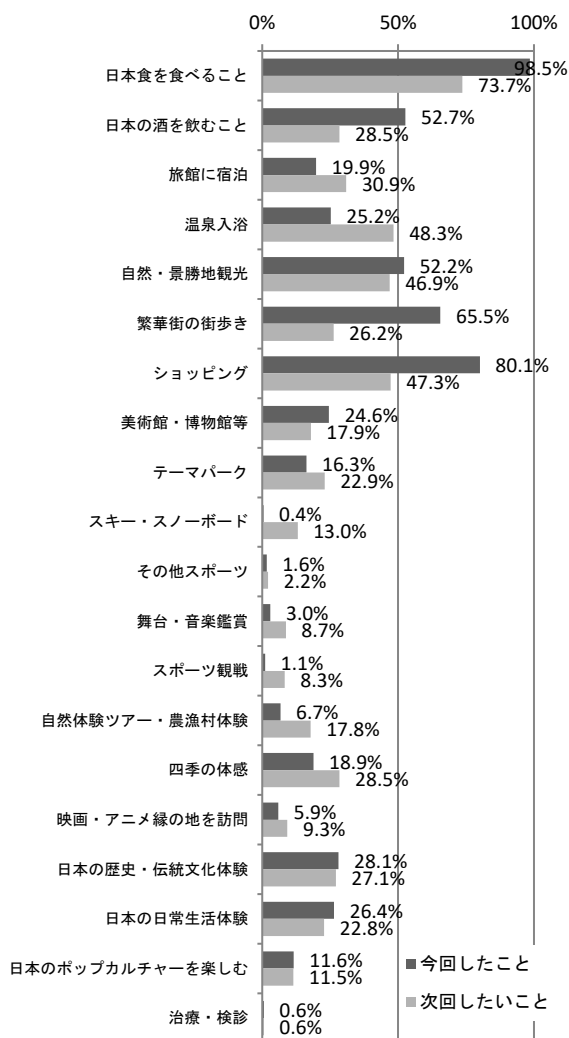
図表 6-2 訪日前に最も期待していたこと
(全国籍・地域、単一回答)



(2) 今回したことと次回したいこと

- 今回の日本滞在中にしたことでは、「日本食を食べること」(98.5%)、「ショッピング」(80.1%)、「繁華街の街歩き」(65.5%)の順で選択率が高い(図表6-3)。
- 次回日本を訪れた時にしたいことでは、「日本食を食べること」(73.7%)、「温泉入浴」(48.3%)、「ショッピング」(47.3%)の順で選択率が高い。

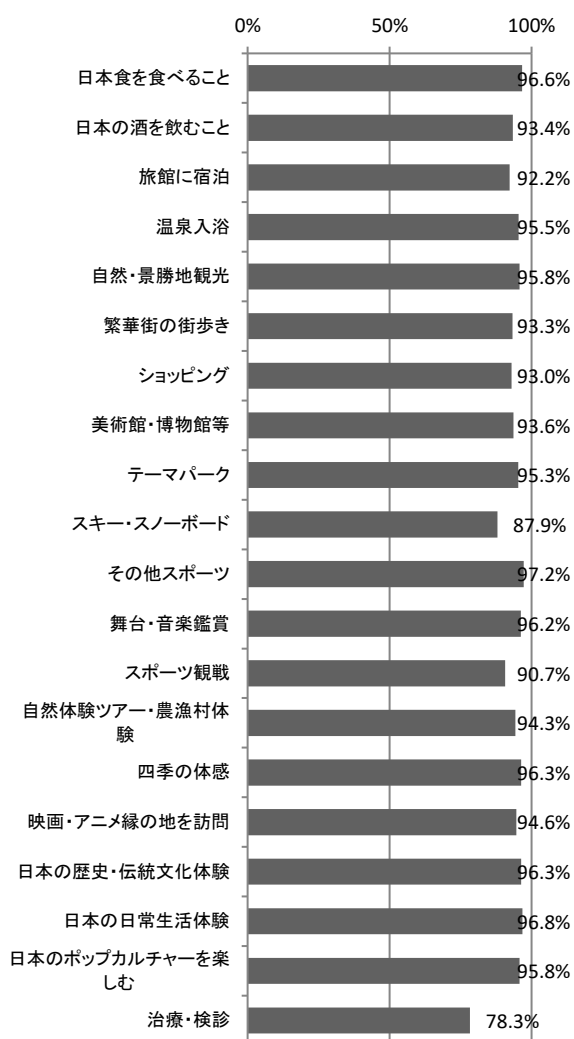
図表 6-3 今回したことと次回したいこと
(全国籍・地域、複数回答)



(3) 今回したことの満足度

- 今回の日本滞在中にしたことの満足度を尋ねた結果、「満足した」と回答した人の割合は「その他スポーツ」(97.2%)、「日本の日常生活体験」(96.8%)、「日本の日常生活体験」(96.6%)、「四季の体感」(96.3%)、「日本の歴史・伝統文化体験」(96.3%)の順で多かった(図表6-4)。

図表 6-4 今回した人のうち満足した人の割合
(全国籍・地域、複数回答)



II 訪日外国人消費動向調査について

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

訪日外国人旅行者の消費動向を明らかにし、外国人観光客誘致に関する施策の企画立案、評価等のための基礎資料を得ることを目的とする。

本調査では、目的に応じて以下に示す3つの調査を四半期毎に実施している。

A 1 全国調査

日本全体での訪日外国人の客層や旅行内容、消費実態を明らかにする。

B 1 地域調査

訪問地（都道府県）毎に、訪日外国人の客層や旅行内容、消費実態を明らかにする。

B 2 クルーズ調査

船舶観光上陸許可を得た訪日外国人の客層や旅行内容、消費実態を明らかにする。

(2) 調査の沿革

2010年（平成22年）

4-6月期より調査開始。

2014年（平成26年）

高松空港を調査地点に追加。

インドネシア、フィリピン、ベトナムを調査対象に追加。

調査票の変更（ラウンジ利用や消費税免税手続きに係る設問の追加等）。

2015年（平成27年）

函館空港、小松空港、富士山静岡空港、関門（下関）港、厳原港、鹿児島空港を調査地点に追加。

イタリア、スペインを調査対象に追加。調査票の変更（申込方法や訪問地毎の支出金額、世帯年収に係る設問の追加等）。

2018年（平成30年）

従来調査（A 1 全国調査）に加え、B 1 地域調査、B 2 クルーズ調査を新たに開始。青森空港、茨城空港、富山空港、岡山空港、米子空港、佐賀空港、宮崎空港、境港、長崎港、那覇港を調査地点に追加。

調査票の変更（訪日頻度に係る設問の追加、支出金額の費目細分化等）。

2019年（平成31年、令和元年）

B 2 クルーズ調査において平良港、石垣港を調査地点に追加。

2020年（令和2年）

調査票の変更（A 1 全国調査では意識調査に係る設問の追加。B 1 地域調査では日本への来訪回数や同行者に係る設問の追加と主な来訪目的に係る設問の選択肢変更等。B 2 クルーズ調査では専用の調査票を新設）。

(3) 調査の根拠法令

本調査は、統計法（平成19年法律第53号）第2条に規定する一般統計として実施した。なお、一般統計の実施と併せ、訪日旅行全体の満足度や再訪意向等の意識調査を同時に行った。

(4) 調査の対象

A 1 全国調査

日本国内の17空海港（※1）から出国する訪日外国人。

（※1）新千歳空港、函館空港、仙台空港、東京国際空港、成田国際空港、富士山静岡空港、中部国際空港、小松空港、関西国際空港、広島空港、高松空港、福岡空港、鹿児島空港、那覇空港、関門港（下関）、博多港、厳原港

B 1 地域調査

日本国内の25空海港（※2）から出国する訪日外国人。

(※2) 新千歳空港、函館空港、青森空港、仙台空港、茨城空港、東京国際空港、成田国際空港、富士山静岡空港、中部国際空港、富山空港、小松空港、関西国際空港、米子空港、岡山空港、広島空港、高松空港、福岡空港、佐賀空港、宮崎空港、鹿児島空港、那覇空港、境港、関門港（下関）、博多港、厳原港

B 2 クルーズ調査

博多港、長崎港、那覇港、平良港又は石垣港に寄港するクルーズ船のうち、同港が日本国内の最終寄港地であるクルーズ船に乗船する訪日外国人であって、出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）第 14 条の 2 に基づく船舶観光上陸の許可を得て同港に上陸した者。

ただし、A 1 全国調査、B 1 地域調査及び B 2 クルーズ調査いずれも以下の者を除く。

- 1) 日本に入国していないトランジット客
- 2) 乗員
- 3) 1 年以上の滞在者
- 4) 出入国管理及び難民認定法に基づく永住者、永住者の配偶者等及び定住者

(5) 抽出方法

本調査は標本調査であるが、空海港の国際線ターミナル搭乗待合ロビーにおいて日本から出国する訪日外国人を対象とした聞き取り調査の手法を採用しており、有意抽出法に該当する。したがって、厳密には調査から得られた結果の性質を理論的に評価することはできない。しかし、調査結果を可能な限り母集団の持つ性質に近づけるため、無作為抽出法で一般に用いられる標本設計の手法を適用して標本サイズを決定している。

A 1 全国調査

A 1 全国調査の標本設計においては、法務省「出入国管理統計」の外国人単純出国者数（前年同期）のうち、調査地点である 17 空海港からの出国者数を母集団とする。訪日外国人の国籍・地域により層化を行い、各層において独立に標本抽出を行う。

B 1 地域調査

B 1 地域調査の標本設計においては、法務省「出入国管理統計」の外国人単純出国者数（前年同期）のうち、調査地点である 25 空海港からの出国者数を母集団とする。訪日外国人の出国港により層化を行い、各層において独立に標本抽出を行う。

B 2 クルーズ調査

国内最終寄港地と見込まれるクルーズ船を各調査港における調査対象の候補とする。調査対象候補となるクルーズ船を、次の寄港地（外国）の国・地域毎に層化した上で、予定寄港回数に基づく比例配分法によって調査対象便を抽出する。便毎の調査対象者数は均等割当とし、客層等の偏りを防ぐため 1 便当たりの回収数上限を 50 票と設定する。

(6) 目標精度と標本サイズ

A 1 全国調査

国籍・地域毎の「1 人当たり旅行総支出」の平均値を推定値とし、目標精度（推定値の標準誤差率）を表 1 のように定めた。

表 1 A 1 全国調査の目標精度

国籍・地域 (21区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数	国籍・地域 (21区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数
韓国	3.0%	780	英国	7.0%	190
台湾	3.0%	610	ドイツ	7.0%	290
香港	3.0%	650	フランス	7.0%	140
中国	3.0%	1,000	イタリア	10.0%	80
タイ	5.0%	300	スペイン	10.0%	70
シンガポール	7.0%	140	ロシア	10.0%	110
マレーシア	7.0%	360	米国	3.0%	1,250
インドネシア	7.0%	220	カナダ	7.0%	220
フィリピン	7.0%	250	オーストラリア	5.0%	240
ベトナム	7.0%	350	その他	5.0%	320
インド	10.0%	260	合計		7,830

この目標精度を達成するために必要となる標本サイズ（目標回収数）を、2016 年（平成 28 年）調査結果を用いて導出した。その結果、A 1 全国調査の標本サイズは各四半期 7,830 票となった。なお、調査港（出国港）毎の標本配分は、前年同期の外国人単純出国者数に比例して割り当てた。

B 1 地域調査

訪問地（都道府県）毎の「1人1泊当たり旅行中支出」の平均値を推定値とし、目標精度（推定値の標準誤差率）を表2のように定めた。

表2 B 1 地域調査の目標精度

都道府県 (47区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数	都道府県 (47区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数
北海道	5.0%	250	三重県	15.0%	60
青森県	15.0%	50	滋賀県	10.0%	120
岩手県	15.0%	60	京都府	5.0%	420
宮城県	15.0%	60	大阪府	5.0%	360
秋田県	15.0%	50	兵庫県	10.0%	190
山形県	15.0%	50	奈良県	15.0%	170
福島県	15.0%	60	和歌山県	10.0%	90
茨城県	15.0%	80	鳥取県	15.0%	50
栃木県	15.0%	60	島根県	15.0%	60
群馬県	15.0%	50	岡山県	15.0%	60
埼玉県	15.0%	90	広島県	10.0%	80
千葉県	10.0%	1,270	山口県	15.0%	50
東京都	5.0%	570	徳島県	15.0%	60
神奈川県	10.0%	190	香川県	15.0%	60
新潟県	15.0%	80	愛媛県	15.0%	70
富山県	15.0%	50	高知県	15.0%	70
石川県	10.0%	80	福岡県	10.0%	50
福井県	15.0%	50	佐賀県	15.0%	120
山梨県	10.0%	170	長崎県	10.0%	120
長野県	10.0%	120	熊本県	10.0%	140
岐阜県	10.0%	70	大分県	10.0%	70
静岡県	10.0%	150	宮崎県	15.0%	50
愛知県	10.0%	110	鹿児島県	10.0%	60
			沖縄県	5.0%	230

この目標精度を達成するために必要となる標本サイズ（目標回収数）を、2016年（平成28年）予備調査の結果を用いて導出した。各都道府県訪問者の出現率は出国港によって異なるため、標本サイズに出現率の逆数を乗じて調査港（出国港）毎の必要回収数を算出し、B 1 地域調査の標本サイズは各四半期 26,174 票となった。なお、訪日外国人の国籍・地域毎の標本配分は、前年同期の外国人単純出国者数に比例して割り当てた。

B 2 クルーズ調査

調査港（国内最終寄港地）毎の「1人当たり旅行中支出」の平均値を推定値とし、目標精度（推定値の標準誤差率）を表3のように定めた。

表3 B 2 クルーズ調査の目標精度

最終寄港地 (3区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数
博多港	5.0%	430
長崎港	5.0%	530
那覇・平良・石垣港	5.0%	430
総数		1,390

この目標精度を達成するために必要となる標本サイズ（目標回収数）を、2016年（平成28年）に実施した予備調査の結果を用いて導出した。その結果、B 2 クルーズ調査の標本サイズは各四半期 1,390 票となった。

(7) 調査事項

A 1 全国調査

入国日、入国した空海港、在留資格、国籍・地域、居住地、性別、年齢、同行者、日本への来訪回数、前回の来訪時期、過去1年間の来訪回数、主な来訪目的、訪問地名、宿泊施設の種類及び泊数、旅行手配方法、ツアー料金又は往復航空（船舶）料金、申込方法、ツアー料金に含まれるサービス、日本滞在中の費目別支出、消費税免税手続き実施状況、世帯年収、その他意識調査

B 1 地域調査

国籍・地域、旅行手配方法、ツアー料金又は往復航空（船舶）料金、Japan Rail Pass の利用状況と料金、入国港、訪問地名、宿泊施設の種類及び泊数、訪問地毎の費目別支出、利用した交通手段、買物場所、利用した決済方法、性別、年齢、在留資格、入国日、同行者、日本への来訪回数、主な来訪目的、その他意識調査

B 2 クルーズ調査

入国日、在留資格、国籍・地域、性別、年齢、同行者、日本への来訪回数、主な来訪目的、日本国内の寄港地における旅行手配方法、クルーズ船料金、買物費目、寄港地、寄港地毎の費目別支出

（８）調査の時期

2022年10月14日（金）～12月13日
（火）

注）新型コロナウイルス感染症の影響により、
今期は下記7空港で調査を実施した。

- ・ A 1 全国調査：新千歳空港、東京国際空港、
成田国際空港、中部国際空港、関西国際空港、
福岡空港、那覇空港
- ・ B 1 地域調査：調査中止
- ・ B 2 クルーズ調査：調査中止

（９）調査の方法

調査対象空海港の出国ロビーにいる訪日
外国人に調査員が協力を求め、タブレット
端末又は紙調査票を示しつつ、聞き取る方
式（他計方式）により行う。

調査票対応言語

英語、韓国語、中国語（繁体字、簡体字）、
タイ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、
スペイン語、ロシア語、インドネシア語、ベトナム語、
以上12言語

2. 用語の解説

(1) 主要項目

一般客

クルーズ客（後述）を除く訪日外国人。

クルーズ客

出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）第14条の2に基づく船舶観光上陸の許可を得た訪日外国人。

注）訪日旅行の往復に航空機等を利用し、日本国内発着のクルーズ船を利用した訪日外国人は一般客に含まれる。

団体ツアー

旅行会社等が企画したツアーで、大半の旅程を団体で行動するもの。

個人旅行向けパッケージ商品

個人旅行者向けに、往復航空（船舶）券と宿泊等がセットになった旅行商品。

個別手配

団体ツアーや個人旅行向けパッケージ商品を利用せず、往復航空（船舶）券や宿泊等を個別に手配すること。

購入率

ある商品やサービスを購入した人の割合。

購入者単価

ある商品（又はサービス）を購入した人を分母として算出される、その商品（又はサービス）を購入する際に支払った支出金額の平均値。当該商品（又はサービス）を購入していない人も含めて算出される支出金額の平均値（費目別旅行消費単価）とは区別して使用される。

旅行前支出

団体ツアー参加者及び個人旅行向けパッケージ商品の利用者についてはパッケージツ

アー参加費が旅行前支出となる。一方、個別手配者については航空・船舶会社に支払われる国際旅客運賃が旅行前支出となる。

旅行中支出

宿泊費や飲食費、交通費、娯楽等サービス費、買物代等、訪日外国人が日本滞在中に支払った支出金額。宿泊費や交通費などで旅行前に決済された場合でも旅行中支出に含まれるが、パッケージツアー参加費に含まれる支出金額は含まれない。

旅行総支出

旅行前支出と旅行中支出の合計。

パッケージ内訳

パッケージツアー参加費に含まれる宿泊費や飲食費、交通費等の国内収入分。回答者から直接報告を得ることができないため、観光・レジャー目的の個別手配者の旅行支出における費目別構成比を用いて推計する。

旅行支出

旅行中支出にパッケージ内訳を加算した金額。

旅行消費単価

1人当たり支出の総称であり、旅行中支出又は旅行支出の意。集計表の表題に使用している。

訪日外国人旅行消費額

旅行消費単価に旅行者数を乗じることにより推計される総額。

地方運輸局等

以下に示す10の地域区分。それぞれの地域区分に含まれる都道府県は以下の通り。

【1. 北海道】北海道

【2. 東北】青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

【3. 関東】茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県

- 【4. 北陸信越】新潟県、富山県、石川県、長野県
- 【5. 中部】福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- 【6. 近畿】滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県
- 【7. 中国】鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- 【8. 四国】徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 【9. 九州】福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
- 【10. 沖縄】沖縄県

(2) 支出費目

a. 宿泊費

ホテル、旅館、国民宿舎、モーテル、簡易宿泊所、山小屋、下宿屋、保養所、ユースホステル、ゲストハウス、会員制の宿泊施設（タイムシェア、バケーションレンタルを含む）、有料での住宅宿泊、合宿所、長期滞在者の家賃

注) パッケージツアー料金に含まれる宿泊費は含まれない。出発前にインターネット等で決済したものを含む。日本国外での宿泊費は含まれない。

b. 飲食費

食堂、レストラン、専門料理店、そば・うどん店、すし店、酒場、ビヤホール、バー、キャバレー、ナイトクラブ、喫茶店、ハンバーガー店、飲食系の移動販売、配達飲食サービス

注) パッケージツアー料金又は宿泊費に含まれる飲食費は含まれない。弁当等を購入して持ち帰った場合には e4. その他食料品・飲料・酒・たばこに分類。

c. 交通費

c1. 航空

飛行機（日本国内の移動のみ）

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。外国と日本との間の航空運賃は含まれない。

c2. Japan Rail Pass

JR グループ各社が外国人旅行者向けに提供している特別企画乗車券

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。「Japan Rail Pass」に加え、外国人旅行者向け JR 特別企画乗車券を含む。

c3. 新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール

JR、鉄道、路面電車、地下鉄、モノレール、案内軌条式鉄道（ゆりかもめ等）、鋼

索鉄道（ケーブルカー）、索道（ロープウェイ等、ただしスキー場におけるものを除く）、交通系電子マネーのカード購入費、フリー乗車券（c2. Japan Rail Pass に該当するものを除く）

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。スキー場におけるリフト・ロープウェイ等の利用料金は d7. スキー場リフトに分類。

c4. バス

乗合バス（路線バス、長距離バス等）、貸切バス（団体観光バス等）

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

c5. タクシー

ハイヤー、タクシー

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

c6. レンタカー

レンタカー、レンタルバイク

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。ガソリン代や有料道路料金、有料駐車場料金は c8. その他交通費に分類。

c7. 船舶

船舶（日本国内の移動のみ）、遊覧船

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。外国と日本との間の船舶運賃は含まれない。貸ボートは d11. レンタル料、遊漁船は d12. その他娯楽等サービス費に分類。

c8. その他交通費

高速道路・有料道路・橋・トンネル等の通行料、駐車場料金、ガソリン代

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d. 娯楽等サービス費

d1. 現地ツアー・観光ガイド

日本国内での現地ツアー、観光案内（ガイド）

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d2. ゴルフ場・スポーツ施設利用料

次の施設利用料：ゴルフ場、ゴルフ練習場、ボウリング場、テニス場、フィットネスクラブ、プール、アイススケート場

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。スポーツ観戦料は d5. **スポーツ観戦** に分類。

d3. テーマパーク

次の入場料：テーマパーク、遊園地、公園

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d4. 舞台・音楽鑑賞

次のチケット料金：音楽コンサート、演劇、歌舞伎、寄席、サーカス

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d5. スポーツ観戦

次のチケット料金：相撲・サッカー・野球・ボクシング・プロレス・ゴルフの観戦

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。スポーツ施設利用料は d2. **ゴルフ場・スポーツ施設利用料** に分類。

d6. 美術館・博物館・動植物園・水族館

次の入場料：美術館、博物館、動物園、植物園、水族館、公民館、図書館、城、プラネタリウム

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d7. スキー場リフト

スキー場における索道（リフト・ロープウェイ等）の利用料金

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d8. 温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション

スーパー銭湯、温泉浴場、砂湯、スパ、健康ランド、ネイルサロン、エステティックサロン、ボディケア、ハンドケア、フットケア、アロマオイルトリートメント、タラソセラピー

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d9. マッサージ・医療費

あん摩マッサージ、指圧マッサージ、はり、きゅう、病院・医院・診療所での診療、整体等の医業類似行為

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。処方薬の購入は e6. **医薬品** に分類。

d10. 展示会・コンベンション参加費

次の参加費：展示会、コンベンション、見本市、博覧会、品評会、学会、その他会議

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d11. レンタル料

次のレンタル料：スキーウェア、スキー板、スノーボード板、スケート靴、スポーツ用品、自転車（レンタサイクル）、テント、ボート、ヨット、衣装、ビデオ、本、医療・福祉用具等

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d12. その他娯楽等サービス費

公営競技（競馬・競輪等）の入場料・投票券（馬券・車券等）、映画館、ビリヤード場、囲碁・将棋所、マージャンクラブ、パチンコホール、ゲームセンター、ダンスホール、マリーナ、遊漁船、芸妓（げいぎ）、カラオケボックス、釣堀、銀行やATMの手数料、両替手数料、保険料、学校、専門学校等の授業料、託児サービス・介護サービスの利用料、コインシャワー、コインランドリー、クリーニング、理容店、美容院、ラウンジ利用料、手荷物預かり所、写真現像、郵便、宅配便の利用料金、公衆電話、携帯電話等の通話料金、等

注）パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

e. 買物代**e1. 菓子類**

キャラメル、ドロップ、キャンデー、チョコレート、チューインガム、焼菓子、ビスケット、米菓、和生菓子、洋生菓子、スナック菓子、その他菓子類

e2. 酒類

酒全般：清酒、みりん、ビール、発泡酒、ウイスキー類、果実酒類、合成清酒、焼酎、スピリッツ、リキュール

注）飲食店等で消費した場合は**b. 飲食費**に分類。宿泊費に含まれている飲食費は**a. 宿泊費**に計上。

e3. 生鮮農産物

野菜（きのこを含む）、果物、花、種苗等

注）卵・肉等の畜産物、魚等の水産物、加工食品は**e4. その他食料品・飲料・たばこ**に分類。

e4. その他食料品・飲料・たばこ

・**e1. 菓子類**～**e3. 生鮮農産物**を除く食料品全般：卵、肉類、魚介類、缶詰・瓶詰、乳

製品、冷凍食品、食用油、精米、乾めん、即席めん、マカロニ・スパゲッティ、生めん、パン、ジャム、はちみつ、調味料・香辛料、みそ、レトルト食品、即席ラーメン、総菜、弁当、豆腐、納豆、健康食品

・酒類を除く飲料全般：緑茶（茶葉）、紅茶（茶葉）、ウーロン茶（茶葉）、コーヒー（豆又は挽いたもの）、炭酸飲料、果実飲料、緑茶飲料、紅茶飲料、ウーロン茶飲料、コーヒー飲料、麦茶飲料、豆乳、ミネラルウォーター、スポーツドリンク、栄養ドリンク

・たばこ全般：紙巻たばこ、葉巻たばこ等

注）飲食店等で消費した場合は**b. 飲食費**に分類。宿泊費に含まれている飲食費は**a. 宿泊費**に計上。

e5. 化粧品・香水

香水、オーデコロン、頭髮用化粧品（シャンプー、ヘヤーリンス、養毛剤、整髪料等）、皮膚用化粧品（クリーム、乳液、化粧水、パック等）、仕上用化粧品（ファンデーション、口紅、アイメイクアップ等）、日やけ止め、ひげそり用化粧品、歯磨剤

注）歯ブラシ、化粧用ブラシは**e16. その他買物代**に分類。

e6. 医薬品

医薬品（風邪薬、胃腸薬、湿布薬、目薬等）、調剤薬局での処方薬、腋臭防止剤、洗眼薬、虫除け、外用消毒剤、軟膏剤、ビタミン剤等サプリメント、その他医薬部外品

e7. 健康グッズ・トイレタリー

マッサージ用具（電気製品でないもの）、美顔用具（電気製品でないもの）、エクササイズ用具（電気製品でないもの）、アイマスク、爪切り、磁気ネックレス、石けん・合成洗剤、界面活性剤、柔軟仕上げ剤、医療用ガーゼ、包帯、脱脂綿、ばんそうこう、綿棒、紙タオル、紙ナプキン、紙

おむつ、生理用品、ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の紙製衛生用品

e8. 衣類

衣服、スポーツ用衣服、下着・寝着類、コート、レインコート、帽子、毛皮製衣服、ネクタイ、スカーフ、マフラー、ハンカチーフ、靴下、手袋、帽子、和服（着物、浴衣）、帯、足袋類等の和装製品

e9. 靴・かばん・革製品

靴・履物、スポーツ用靴（登山靴、スケート靴、ゴルフ靴等）、スリッパ、サンダル、かばん、ハンドバッグ、リュック、ランドセル、スーツケース、名刺入れ、財布、ベルト、腕時計用革バンド

e10. 電気製品

デジタルカメラ、ビデオカメラ、デスクトップパソコン、ノートパソコン、ディスプレイ・モニター、外部記憶装置、プリンタ、炊飯器、ジャーポット、電子レンジ、電気冷蔵庫、食器洗い乾燥機、電磁調理器、エアコン、扇風機、電気温水器、除湿器、加湿器、空気清浄機、電気アイロン、掃除機、洗濯機、洗濯物乾燥機、電気温水洗浄便座、電気ドライヤー、電気シェーバー、電気ストーブ、電気カーペット、電気マッサージ器具、ランプ、携帯電灯、懐中電灯、乾電池、蓄電池、ステレオセット、デジタルオーディオディスクプレイヤー、補聴器、スピーカ、マイクロホン、イヤホン、テレビ、ラジオ、電話機、ファクシミリ、携帯電話機、カーナビゲーションシステム、電気製品の部品

e11. 時計・フィルムカメラ

腕時計、置時計、ストップウォッチ、タイマー時計、時計の部品、フィルムカメラ、インスタントカメラ、カメラレンズ、カメラ付属品（ストロボ、三脚等）、望遠鏡、双眼鏡

e12. 宝石・貴金属

宝石（天然宝石、真珠等）や貴金属（金、銀、プラチナ等）が主体である以下の製品：アクセサリ（ネックレス、ブレスレット、指輪、イヤリング、ブローチ等）、メダル、貴金属製たばこケース、貴金属製ナイフ・フォーク・スプーン・皿等の洋食器類、その他の身近細貨品

e13. 民芸品・伝統工芸品

日本の地域独自の手工芸品に該当する以下の製品：織物、染色品、陶磁器、漆器、ガラス容器、木工品、竹工品、金工品、仏壇、仏具、和紙、文具（筆、墨、硯、そろばん）、石工品、人形、玩具、扇子、団扇、和傘、提灯、和楽器、工芸用具、工芸材料、アクセサリ（ネックレス、ブレスレット、指輪、イヤリング、ブローチ等）

e14. 本・雑誌・ガイドブックなど

新聞、書籍、マンガ、雑誌、定期刊行物、その他の出版物、絵葉書、ポスター

e15. 音楽・映像・ゲームなどソフトウェア

音楽や映像等のコンテンツが記録されているメディア（CD、DVD、ブルーレイディスク、磁気テープ、レコード等）、ゲームソフト、コンピュータソフト（CD、DVD等）、有料アプリ

e16. その他買物代

寝具、じゅうたん・カーペット、タオル、カーテン、クッション、家具、文房具、箸（はし）、台所用品（包丁、まな板等）、食器、アクセサリ、乗用車・二輪自動車・自転車とその部品、空の記録メディア（CD、DVD、ブルーレイディスク、磁気テープ等）、玩具（おもちゃ）、ゲーム機、楽器、歯ブラシ、化粧用ブラシ、清掃用品（ほうき、はたき、モップ）、洋傘、マッチ、たばこ用ライター、模型（地球

儀、食品模型)、魔法瓶、線香類、眼鏡、眼鏡わく、眼鏡レンズ、コンタクトレンズ、カメラフィルム等

注) e12. 宝石・貴金属又はe13. 民芸品・伝統工芸品に相当するものを除く。

f. その他

その他 (a. 宿泊費から e. 買物代までに相当しないもの)

注) 現地ツアー料金に含まれる保険料は d1. 現地ツアー・観光ガイドに計上。電話機本体の購入は e10. 電気製品に分類。

(3) 買物場所

百貨店・デパート

原則として百貨店協会加盟の店舗

家電量販店

PCやカメラ、電気製品を専門に販売する店舗

ファッション専門店

服・鞆・靴・アクセサリ・高級腕時計等を専門に販売する店舗

100円ショップ

店内の商品を原則として1点100日本円均一で販売する形態の小売店

高速道路のSA・道の駅

高速道路のサービスエリア(SA)やパーキングエリア(PA)、国土交通省に登録されている「道の駅」

観光地の土産店

観光地内にある小売店

宿泊施設

旅館・ホテル等の館内に併設されている土産店

スーパーマーケット

高頻度に消費される食料品や日用品等をセルフサービスで短時間に買えるようにした小売店舗

コンビニエンスストア

年中無休で長時間の営業を行い、小規模な店舗において主に食品、日用雑貨等多数の品種を扱う形態の小売店

ドラッグストア

医薬品や化粧品、トイレタリーを中心とし、併せて日用品や文房具、食料品等を取扱う店舗

ディスカウントストア

一時的なセールではなく常に低価格で商品を提供する安売り店舗で、一般的には生鮮食料品を除く生活用品を総合的に取り扱う

アウトレットモール

「メーカー品」(通常、メーカーのブランド名を表示したもの)や、「高級ブランド品」(通常、百貨店等で高額でも購入者がつき、販売可能なもの)を低価格で販売する複数のアウトレット店舗を一箇所に集めモールを形成したショッピングセンター

都心の複合商業施設

都心部に立地し、商業施設や飲食施設、映画館、遊技場等の娯楽施設等が一体的に整備された施設

その他ショッピングセンター

複数の小売店舗が入居する商業施設で、上記の買物場所に当てはまらないもの

鉄道駅構内の店舗

駅構内にある小型売店

注) 駅ビルは「百貨店・デパート」に含まれる。

空港の免税店

空港の制限区域内にあるブランドショップ

クルーズ寄港港湾内の店舗

クルーズ船が寄港する港の旅客施設内に設置されている小売店舗(臨時店舗を含む)

その他

上記に当てはまらない買物場所(書店、CD・DVD・レコード販売店、家具屋、観光施設内にある店舗、アンテナショップ、郵便局、質屋・金券ショップ等)

3. 調査の結果

(1) 表章事項

A 1 全国調査及びB 1 地域調査

国籍・地域別、居住地別ならびに訪問地（都道府県及び地方運輸局等）別の3つの集計区分毎に、回答者属性や旅行内容に係る構成比、費目別購入率・購入者単価、回答者属性や旅行内容別の旅行消費単価、平均泊数を表章している。加えて、国籍・地域別の消費税に係る免税手続き実施状況、国籍・地域別及び出国港別の都道府県別訪問率を表章している。

参考として、パッケージツアー参加費内訳を含む旅行消費単価や、訪日旅行に関する意識について国籍・地域別の集計を行っている。また、主な来訪目的が「観光・レジャー」の旅行者に限定して、国籍・地域別及び訪問地（都道府県及び地方運輸局等）別の集計区分による集計も行っている。

B 2 クルーズ調査

国内最終寄港地別を集計区分とし、回答者属性や旅行内容に係る構成比、費目別購入率・購入者単価、回答者属性や旅行内容別の旅行消費単価、平均泊数を表章している。

(2) 集計方法

ウェイトバック集計

本調査の回答数は訪日外国人の「国籍・地域」や帰国時に利用する「出国港」によって区分される層毎で標本の抽出率が異なる。そのため、集計結果を母集団の構成に合わせることを目的として、集計表の作成にあたってはウェイトバック（重み付け）を施している。四半期調査結果では、日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」ならびに法務省「出入国管理統計」の単純出国者数をウェイトとして使用している。

なお、集計表中に統計精度の参考値として「回答数」を付記しているが、これは回収された回答数を単純に計数したものであり、ウェイトバックを施していない。そのため、ウェイトバック集計により算出された「構成比」や「購入率」「選択率」などの統計値と、「回答数」を元に算出するこれらの数値は一致しない点に留意されたい。

当該ウェイトバック集計の算出式は次の通りである。

$$X = \frac{\sum_i x_i N_i}{\sum_i N_i}$$

X ：全体（全国籍・地域）の統計値

x_i ：層 i の統計値

N_i ：層 i の訪日外客数

さらに、A 1 全国調査とB 1 地域調査の整合を図るため、B 1 地域調査から導出される集計表については、以下の数値に関してA 1 全国調査の結果と一致するようにウェイトの調整を行っている。

- ・国籍・地域（21区分）及び主な来訪目的（3区分）別の旅行者数
- ・国籍・地域（21区分）及び主な来訪目的（2区分）別の旅行中支出（総額、大費目別）

旅行支出の円換算

旅行支出については、円又は自国の通貨で調査し、原則としてIMF（国際通貨基金）公表の日次データによる調査期間中平均値を用いて円換算した。但し、IMFにデータがない通貨のうち、ニュー台湾ドル及び香港ドルについてはFRB（連邦準備制度理事会）、インドネシア・ルピアおよびベトナム・ドンについては財務省貿易統計の資料を基に円換算を作成した。

(3) 調査結果の精度

A 1 全国調査

表4 国籍・地域別1人当たり旅行総支出

国籍・地域 (21区分)	標準 誤差率	有効 回答数	国籍・地域 (21区分)	標準 誤差率	有効 回答数
韓国	1.7%	1,934	英国	5.6%	262
台湾	3.4%	1,449	ドイツ	2.4%	402
香港	2.9%	965	フランス	4.1%	239
中国	5.0%	310	イタリア	5.9%	104
タイ	2.8%	665	スペイン	6.8%	82
シンガポール	3.6%	366	ロシア	21.3%	11
マレーシア	3.6%	399	米国	2.0%	1,347
インドネシア	4.3%	276	カナダ	7.2%	173
フィリピン	4.6%	384	オーストラリア	4.7%	204
ベトナム	4.4%	286	その他	2.7%	649
インド	4.2%	319		総数	10,826

注1) 国籍・地域別の結果については、従来に比べて入国者数が少ないため十分な回答数が確保できない等の理由から、標準誤差率の大きい国籍・地域もあるため、留意されたい。

(4) 利用上の注意

- ・ 2018年より調査方法を変更したため、2017年までの数値との比較には留意が必要である。
- ・ 各数値はウェイトバック集計後に四捨五入をしており、全体の数値と内訳の合計とは一致しない場合がある。
- ・ 集計表で使用されている「-」は、該当する回答者のいない層（又は集計対象外の層）であることを示している。
- ・ 集計事項により回答数が小さい数値については、取り扱いに留意されたい。
- ・ 都道府県、地方運輸局等別の訪問地には、出入国空海港の所在地が含まれる。

＜集計表＞

【一般客（全目的）】

表 1-1	国籍・地域（21 区分）別	回答者属性および旅行内容	
表 1-2	居住地（21 区分）別	回答者属性および旅行内容	
表 1-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	回答者属性および旅行内容	
表 2-1	国籍・地域（21 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
表 2-2	居住地（21 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
表 2-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
表 3-1	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
表 3-2	居住地（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
表 3-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
表 3-4	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	1 人 1 泊当たり旅行消費単価	
表 4-1	国籍・地域（21 区分）別	平均泊数	
表 4-2	居住地（21 区分）別	平均泊数	
表 4-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	平均泊数	
表 5-1	国籍・地域（21 区分）別	消費税に係る免税手続き実施状況	
表 6-1	国籍・地域（21 区分）別	都道府県別訪問率	
表 6-2	出国港（25 区分）別	都道府県別訪問率	
参考 1	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）	
参考 2	国籍・地域（21 区分）別	費目別 1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）	
参考 3	国籍・地域（21 区分）別	訪日旅行に関する意識（満足度など）	

【一般客（観光・レジャー目的）】

参考 4	国籍・地域（21 区分）別	回答者属性および旅行内容	
参考 5	国籍・地域（21 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
参考 6	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
参考 7	国籍・地域（21 区分）別	平均泊数	
参考 8	国籍・地域（21 区分）別	都道府県別訪問率	
参考 9	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）	
参考 10	国籍・地域（21 区分）別	費目別 1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）	
参考 11	国籍・地域（21 区分）別	訪日旅行に関する意識（満足度など）	
参考 12	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	回答者属性および旅行内容	
参考 13	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
参考 14	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
参考 15	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	平均泊数	

【クルーズ客（船舶観光上陸許可を得た外国人）】

表 7-1	国内最終寄港地（3 区分）別	回答者属性および旅行内容	
表 7-2	国内最終寄港地（3 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
表 7-3	国内最終寄港地（3 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
表 7-4	国内最終寄港地（3 区分）別	都道府県別訪問率（寄港地）	

訪日外国人の消費動向
2022年10-12月期 報告書

発行 2023年3月

編集 国土交通省観光庁
観光戦略課観光統計調査室

〒100-8918

東京都千代田区霞が関2丁目1番2号

電話 代表 03 (5253) 8111

内線 27223、27230

直通 03 (5253) 8325

URL <http://www.mlit.go.jp/kankocho/>